

「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

Vol.27

2018 5月 - 7月
2018 5/10 発行

TAKE FREE

Sinfonia

シンフォニア

Close Up

プロジェクションマッピング×パイプオルガン
帰ってきた!!超絶のスター・ウォーズ

ブルーノ=レオナルド・ゲルバー ピアノ・リサイタル インタビュー

本名徹次指揮 ベトナム国立交響楽団 2018 インタビュー
ほか

Daniel
Harding

©Julian-Hargreaves

ダニエル・
ハーディング
指揮

Orchestre de Paris

©Felix Broede

©William Beaucardet



Isabelle
Faust



- 2 ダニエル・ハーディング指揮 バリ管弦楽団 インタビュー
- 4 日本センチュリー交響楽団 × ザ・シンフォニーホール VOL.2
クラシック&ポップス VOCALIST ーディーヴァ中丸三千繪と出逢う夏ー インタビュー
- 6 日越外交関係樹立45周年 本名徹次指揮 ベトナム国立交響楽団 2018 インタビュー
- 7 トン・コーブマン指揮 アムステルダム・バロック管弦楽団&合唱団 「口短調ミサ」
- 8 ブルーノ=レオナルド・ゲルバー ピアノリサイタル インタビュー
- 9 〈名曲シリーズ〉大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ソワレ・シンフォニーVol.12 インタビュー
- 10 ヴァディム・ホロデンコ ピアノリサイタル
- 11 東京佼成ウインドオーケストラ第3回大阪定期演奏会
- 12 プロジェクションマッピング×パイプオルガン 超絶のオペラ座の怪人
オールパッハ名曲選!!真夏のオルガンコンサート 2018 パッハ国際コンクール優勝 富田一樹のパッハ!!
- 13 ショパン国際ピアノコンクール 第2位 アムラン ショパンピアノ協奏曲1番&2番
BACH IS IN THE AIR 〜パッハとジャズが出会う時〜 イタリアを騒然とさせたあの男たちがついに初上陸!
- 14 関西フィル 第4回親子定期演奏会
オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ 第120回定期演奏会
- 15 美しき日本のうた「秋の月」
あの頃のフォークを歌おう 高石ともやコンサート ー北山 修 作品集よりー
大阪交響楽団 0歳児からの「光と映像で楽しむオーケストラ」 Vol.12
- 16 初代竹山没後20年メモリアルコンサートII
〜「民謡の心」唄から三味線へ三味線から唄へと繋ぐ〜 津軽三味線二代目 高橋竹山コンサート
The Symphony Hall×和太鼓松村組 夏祭り2018 〜夏の夜の天つ風〜
懐かしのあの歌を一緒に歌おう!歌声ホール vol.8
- 17 The Symphony Hall String Quintet Vol.4
エリック・ハイドシェック with ザ・シンフォニーホール チェンバーアンサンブル
- 18 The Symphony Hall Big Band〜Music Director 菊池寿人〜Vol.12 インタビュー
- 20 ライト・シンフォニック コンサート 〜情熱の夏〜 インタビュー
- 21 細川千尋ジャズライブ CLASSIC & JAZZ
- 22 朝日放送主催公演・イベント情報
- 26 日本センチュリー交響楽団
- 28 welcome more musicians!音楽を愛する団体が集うザ・シンフォニーホール
- 29 ホールトピックス
- 30 堀江政生のシンフォニア・アワーVol.27
- 31 Concert Calendar 2018.5〜7

5月のSinfonia会員先行予約

- 先行予約:**5月24日(木) 10:00AM〜**
※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。
- ※ザ・シンフォニー チケットセンター窓口、館内プレイガイドでの販売はございません。
- ※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。
- 電話:ザ・シンフォニー チケットセンター **06-6453-2333** (10:00〜18:00 火曜定休)
- WEB:<http://www.symphonyhall.jp/>

シンフォニア会員登録方法

シンフォニア会員にご登録いただけますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

▼ WEBサイトからのご登録

ザ・シンフォニーホール ホームページ

<http://www.symphonyhall.jp/> からご登録下さい。

▼ ハガキでのご登録

定型ハガキに右記の情報を記載いただき、62円切手を貼付の上、ポストに投函ください。

※手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。【@symphonyhall.jp】をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様の個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お客様からご提供いただいた個人情報については、個人情報に関する法令、規範に準拠して管理いたします。○お客様からいただいた個人情報は、以下の目的のために使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1)シンフォニア会員会員の情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送(2)ザ・シンフォニーホールで開催する催事を案内する印刷物の発送(3)メールなど会員の利用に関する案内、ご連絡(4)ザ・シンフォニーホールの事業、サービスの開発・改善を目的とした調査・研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積(5)チケット予約販売に伴う、ご本人確認および連絡(6)株式会社ザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送(7)個人情報の提供はご自身の意思でご本人が行うものといえます。○お客様の個人情報を、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報管理が安全に管理されるよう適切に監視します。

表紙の一枚「ダニエル・ハーディング指揮 バリ管弦楽団」

※記載内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

プロジェクションマッピング×パイプオルガン

The Symphony Hall

帰ってきた!!

超絶の スター・ウォーズ

やっぱり、
パイプオルガンがスゴ過ぎる!!

ファン大注目! 2年連続で即完売を記録した

プロジェクションマッピング×パイプオルガンコンサートが、この夏も帰ってきます!

1台のパイプオルガンから奏でられる、大ヒット映画を彩った名曲の数々。

音楽に合わせてホールいっぱいに描かれる、迫力満点のプロジェクションマッピング。

まるで宇宙旅行に出かけるような、興奮と感動の瞬間をぜひ体感してください。

2018.8/24(金) 7:00PM

全席指定 2,700円(税込)

[ご予約・お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

※4歳以上のお子様からご入場可能です ※休憩なし、約60分間のコンサートです

先行予約:5/24(木) 一般発売:5/27(日)

PROGRAM

「インディ・ジョーンズ」より レイダース・マーチ

「ハリー・ポッター」よりメドレー★

〜プロローグ-ハリーの不思議な世界-ヘドウィグのテーマ〜

「E.T.」より フライング・テーマ

「ジョーズ」より メイン・タイトル

「ジュラシック・パーク」より テーマ★

「スター・ウォーズ」よりメドレー★

〜メイン・タイトル 帝国のマーチ-レイア姫のテーマ-王座の間とフィナーレ〜

「バック・トゥ・ザ・フューチャー」より テーマ★

「パイレーツ・オブ・カリビアン」より 彼こそが海賊★

(★プロジェクション・マッピング付き)

石丸由佳
Yuka Ishimaru
オルガン

ベルクの協奏曲は情熱と知性をあわせもつ奇跡の傑作（ファウスト）

とりわけ、今回の来日公演ではイザベル・ファウストのヴァイオリンが大きな聴きものとなる。ファウストはバッハやモーツァルトのような古い時代の音楽から、今回のベルクのような比較的新しい時代の音

楽まで、それぞれの作品に応じた演奏スタイルで説得力あふれる演奏を聴かせてくれる名手だ。ヴァイオリニストのなかには、どんな作品であつてもすべてを自分のスタイルで染め上げてしまう人もいれば、それぞれの作品に応じた表現を突き詰めようとするタイプの人もいる。ファウストは後者。



Isabelle Faust
イザベル・ファウスト

Interview



欧州屈指の名門、
パリ管弦楽団が
披露する理想のプログラム

2016年に気鋭ダニエル・ハーディングを音楽監督に迎えて快進撃を続けるパリ管弦楽団。名ヴァイオリニスト、イザベル・ファウストとの共演が実現する

ダニエル・ハーディング指揮 パリ管弦楽団



©William Beaucardet

ソリストと指揮者が得意とするベルクとマーラーを演奏

フランスを代表するオーケストラ、パリ管弦楽団がザ・シンフォニーホールにやってくる。指揮は音楽監督を務める気鋭ダニエル・ハーディング。ソリストには現代有数のヴァイオリニストであるイザベル・ファウストが招かれる。またとない豪華な顔ぶれがそろった。

プログラムはベルクのヴァイオリン協奏曲とマーラーの交響曲第1番「巨人」。この選曲も期待を煽る。というのも、フランスのオーケストラが来日する場合、どうしてもフランス音楽の名曲ばかりが求められるがちである。もちろん、それもいいのだが、パリ管弦楽団の魅力は狭いレパートリーに留まるものではない。持ち前の華麗で色彩感豊かな響きや、管楽器の名手たちの妙技に加えて、現代の超一流楽団にふさわしい柔軟性と高いアンサンブル能力は、幅広いレパートリーで生かされる。となれば、指揮者とソリストにふさわしいプログラムを聴きたいもの。そこで実現したのが今回の非フランス音楽プログラム。ベルクのヴァイオリン協奏曲はイザベル・ファウストの、マーラーの交響曲第1番「巨人」はダニエル・ハーディングの十八番といってもいいレパートリー。ぜひとも、この人の演奏でこの曲を聴きたい！そう思わせる選曲がこの2曲なのだ。

今回の選曲の狙いについて、尋ねてみた。

「ベルクが残したこの作品は、ヴァイオリン協奏曲のレパートリーのなかでももっとも大切なひとつであり、まさに傑作です。多くの方々がこの曲を愛してやまないだろうと思います。ダニエル・ハーディングとはこの曲をなんども共演していますので、この音楽への情熱を日本のみなさんにもお伝えできれば嬉しいです」

作曲家ベルクは20世紀前半にウィーンを拠点に活動した「新ウィーン楽派」のひとり。この楽派が生んだ作品のなかで、ベルクのヴァイオリン協奏曲はきわめて高い人気を誇っている。その人気の秘密はどんなところにあるのだろうか。

「この音楽は凄まじい激しさを持つ一方で素直さもあり、情熱と知性をあわせ持っています。これらが見事に組み合わせられた奇跡といえるでしょう。牙えわたる知性と緻密な構造を持つにもかかわらず、曲のなかにある感情的な要素には抗うことができず、まっすぐ心の中に入ってくるのです。作曲時の背景にもまた、感情を呼び起こされます。私の大好きなヴァイオリン協奏曲です」

作曲時の背景とは、ベルク夫妻がかわいがっていた知人の娘マノンが病のため18歳で世を去ってしまったことを指す。訃報を知ったベルクは、「ある天使の思い出に」と献辞を添えて、マノンにこのヴァイオリン協

奏曲を捧げた。一種のレクイエムともいえる作品であるが、奇しくも完成からまもなくベルク自身も世を去り、これが完成された最後の作品となってしまった。

ハーディングと共演できることはこの上ない特権（ファウスト）

共演するハーディングについても、絶大な信頼を寄せる。オーケストラに対する期待と合わせて語ってもらった。

「ダニエルとはもう何年もいっしょに演奏しています。彼は偉大な指揮者ですが、いかなる時もさらなる高みを目指していて、とてつもなく非凡な音楽家だと思っています。音楽に対する誠実さや聡明さには、心から尊敬の念を抱いています。彼と一緒にステージに立つことができるのは、

この上ない特権なのです。またパリ管弦楽団のみなさんはとても力強く、個性にあふれています。毎回の共演が楽しくてしかたありません」

ファウストが語るように、指揮のハーディングもまた傑出した才能の持ち主である。慣習にとらわれることなく、作品を新たな目で見つめ直し、ときには大胆で新鮮な解釈を披露してくれるのがハーディングの魅力。交響曲第1番「巨人」はマーラーの交響曲でもっとも頻繁に演奏される作品だが、これまでになんども「巨人」を聴いているという方であっても、ハーディングとパリ管弦楽団の演奏には驚きを感じるのではないだろうか。

長く記憶に残るような特別な名演を期待したい。

（文 飯尾洋二）

【指揮】ダニエル・ハーディング
【ヴァイオリン】イザベル・ファウスト
【管弦楽】パリ管弦楽団

ベルク：ヴァイオリン協奏曲
マーラー：交響曲第1番 二長調「巨人」

2018.12/19(水) 7:00PM
S 19,440円 A 16,200円
B 12,960円 C 9,720円 プレミアム 25,920円（税込）
【ご予約・お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333
【主催】ザ・シンフォニーホール 【共催】公益財団法人ソニー音楽財団
先行予約：5/24(木) 一般発売：5/27(日)



©William Beaucardet

指揮
飯森範親

©Ryo Kawasaki

ける21世紀の理想的な音楽視聴方法だと思っています」

クラシックの演目には、得意とするヴェルディの傑作オペラ・アリアが並ぶ。

「まずは、イタリア留学直後にカラ座で観た思い出のヴェルディ・オペラ『オテロ』より『柳の歌』と『アヴェ・マリア』。その時の歌手はミレラ・フレニニだったのですが、『アヴェ・マリア』の最後で声がかすれてしまったんです。大歌手の彼女でも失敗する姿に衝撃を受けた私は、以来この高音のピアノシモを課題にして取り組み、後に武器にすることができました。あと、ヴェルディはもう1曲、『シチリア島の夕べの祈り』より『ありがとう愛する友よ』を。技術的にも体力的にも難しいこのアリアを歌う時、私は毎回ある

演出をしているので、注目していたきたいです」

ヴェルディと並ぶイタリア・オペラの巨匠プッチーニからは、『トスカ』より『歌に生き、恋に生き』と、『ジャンニ・スキッキ』より『私のお父さん』を。

「歌に生き、恋に生き」は、1995年に録音したCDのタイトルにもなった長年の愛唱歌で、ブレスの仕方などにも様々な工夫を重ねてきました。『私のお父さん』もデビュー以来ずっと歌い続けていますが、最近私が歌うネスレのテレビCMでもおなじみかもしれませんね(笑)」

ポップスは、ディズニー映画『ピノキオ』より『星に願いを』や、MISIAの『逢いたくていま』など多彩だが、これらは今回の演目でもあるカッチーニの『アヴェ・マリア』や、

「私のお父さん」とともに、前述のCD『中丸三千繪 VOCALIST』に収録されている。

「私は子供の頃からディズニーが大好きで、イタリア語の勉強をする際に最初のテキストに選んだのも『シンデレラ』だったんですよ。ただ、こうしたポップスの音域は、私が普段歌うクラシックよりも1オクターヴほど低く、伴奏のオーケストラの音域とも被るので、歌声がかき消されてしまふんです。でもクラシックとポップスを同じ感覚で楽しめる音楽活動を目指す中で、曇りガラスのような歌声をクリアに変える練習を積んできました。その成果をCDとコンサートの双方でお楽しみいただければと思います」

「私の好きなライブツイヒ・ゲヴァントハウスのような歌いやすさ」

今回の公演を指揮するのは、日本センチュリー交響楽団の首席指揮者・飯森範親だ。

「桐朋学園時代からの出会いで、共演歴が長いこともあり、私の意図や体調などを即座に察してくれまう。レパートリーが広く、音楽性も柔軟というのが私の印象ですね」

そして、日本センチュリー交響楽団とザ・シンフォニーホールの舞台。この2つは、中丸にとって格別の思い出があるという。

「デビューから間もない1992年9月18日にライブ録音した『中丸三千繪—スペシャル・ライブ・コンサート—』の会場がザ・シンフォニーホールで、さらに共演が当時は大阪センチュリー交響楽団と名乗っていた日本センチュリー交響楽団だったんです。超満員の客席は、後半から徐々に盛り上がりを見せ、アンコールで一気に爆発。最後は全員のスタンディング・オベーションとなった光景は本当に感動的でした。ザ・シンフォニーホールは、豊かな残響に近年はシャープな洗練が加わってきていて、私の好きなライブツイヒ・ゲヴァントハウスのような歌いやすさを感じますね。日本センチュリー交響楽団は、1992年の共演時もそうでしたが、各パートに名手が揃い、あらゆる音楽に情熱的で献身的。今回のようなクロスオーバー作品の共演もとても楽しかったです」

(取材・文 渡辺謙太郎)

発売中

【指揮】 飯森範親
【ソプラノ】 中丸三千繪
【管弦楽】 日本センチュリー交響楽団

ジュゼッペ・ヴェルディ：歌劇『オテロ』第4幕より『柳の歌』／歌劇『オテロ』第4幕より『アヴェ・マリア』／歌劇『シチリア島の夕べの祈り』より『ありがとう愛する友よ』

ジャコモ・プッチーニ：歌劇『トスカ』第2幕より『歌に生き、恋に生き』／歌劇『ジャンニ・スキッキ』より『私のお父さん』
リー・ハーライン：映画『ピノキオ』より『星に願いを』
アンドレ・ギヤニオン：明日(作詞：松井 五郎)
佐々木潤：TBS系日曜劇場『JIN-仁-』より『逢いたくていま』
ジュリオ・カッチーニ：『アヴェ・マリア』 (ほか)

2018.8/4(土) 2:00PM

S 5,940円 A 4,860円 B 3,780円 (税込)

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【お問合せ】センチュリーチケットサービス 06-6868-0591
(平日10:00~18:00)

【主催】公益財団法人日本センチュリー交響楽団／ザ・シンフォニーホール



日本センチュリー交響楽団

©s.yamamoto

Interview



世界的歌姫が8月の大阪に登場！
魅惑のオペラ&ポップス公演！！
日本センチュリー交響楽団のシリーズ第2弾。
中丸三千繪の輝かしい歌声に乗せて夏の暑さを吹き飛ばす！

Michie Nakamaru

日本センチュリー交響楽団×ザ・シンフォニーホール VOL.2
クラシック&ポップス

VOCALIST

—ディーヴァ中丸三千繪と出逢う夏—

4月にピアノリスト 清水和音をゲストに迎えて大盛況でスタートを切った「日本センチュリー交響楽団×ザ・シンフォニーホール」。オーケストラと音楽の自由な楽しみ方を提案するこのシリーズの「VOL.2」は、ディーヴァ中丸三千繪と出逢う夏。1990年にイタリアの超難関マリア・カラス・コンクールを制し(現在も唯一の日本人優勝者)、ミラノ・スカラ座をはじめとした第一線の劇場やホールで華々しい活躍を続ける彼女が、クラシックとポップスの名曲を集めた珠玉のひとつときをお届けする。

クラシックとポップスを
同じ感覚で楽しむのが「理想的

今年のウィーン・フィルのニューイヤー・コンサートを指揮したリッカルド・ムーティとまたたび共演するなど、クラシックの王道を歩んできた中丸だが、今回のようにポップスも歌うようになったのは、昨今の日本クラシック音楽界に対する思いからだという。

「今年1月に、ネスレ日本の高岡浩三社長に選曲、プロデュースを行っていただき、飯森範親さんの指揮でレコーディングをしてCDをリリースしました。若手の新しいファンを獲得するためにポップスとクラシックの名曲と一緒に演奏するという、まさに声楽のイノベーション。クラシックとポップスのクロスオーバーを楽しんでいただ

日越外交関係樹立45周年 本名徹次指揮 ベトナム国立交響楽団 2018

繊細で懐かしさを感じさせる独特な響き——
5年ぶりにザ・シンフォニーホールに登場

Interview



本名
徹次

Honna Tetsuji



本名徹次率いるベトナム国立交響楽団（以下VNSO）が、5年ぶりにザ・シンフォニーホールに戻ってくる。2004年にシヨスタコーヴィチの《交響曲第5番》、そして2013年にはベートーヴェンの《交響曲第5番》を演奏した。

本名とベトナム、そしてVNSOとの出会いは、ドラマティックだ。

「就任前のことですが、演奏ツアーでハノイを訪れました。ホテルへ向かうバスの車窓から、路上の店に灯る裸電球のオレンジ色を眺めていると、ノスタルジックな気持ちになりました。またここへ帰ってきたいと思いました。演奏会の後、VNSOの首席チェリストが、『Heip me』と私のものに駆け付けてきたのです。『教えて、指揮して、全部やって』と言われ、嬉しくて『やる』と答えたものの、『でもお金は払えない』と言われ（笑）」

2001年にVNSOの指揮者に就任し、5年でアジアのトップクラスへ、さらに5年後には世界のトップクラスへVNSOを成長させる契約を更新した本名は、VNSOとともに海外での演奏機会も着実に重ねてきた。

「二人でできるわけではなく」と語る本名は、共演した演奏家や知人を日本からベトナムへ招き、音楽の交流を積極的に展開。オーケストラのレヴェルアップにとどまらず、彼は多岐にわたるこの楽団の改革にたずさわった。定期公演も行ない、その演奏を日本から聴きに訪れる人が増え

ている。そして2011年には、初のアメリカ公演でカーネギーホールの演奏会を成功へと導いた。

この7月の公演で、VNSOはドヴォルザークの《交響曲第9番》と《チェロ協奏曲》を柱としたプログラムを披露する。2曲ともに、作曲家のアメリカ時代の創作だ。

「VNSOの演奏の魅力は、ベトナム語の6声調に関係しているのでしょうか。世界中のどのオーケストラからも聴いたことのない、繊細で懐かしさを感じる独特な響きが聴こえてきます。その響きを、ドヴォルザークを通して、大阪の聴衆の皆さまにお届けできればと思いました」

そして、チェリストには気鋭の宮田大を迎える。本名によると、ベトナムの人々はチェロが好きで、宮田との共演を待ち望んでいるという。

また、演奏会のオープニングを飾るのは、ベトナム人作曲家チョン・バンの序曲《幸せを私たちに運んでくれた人》だ。

「この曲は、僕がVNSOと活動し始めた頃に出会ったベトナムの音楽です。『ホーおじさん』ことホーチミンさんを歌った音楽で、チョン・バンさんは当時、ベトナム音楽家協会の会長を務めていました。長い戦争を終えた後の『ベトナム人の心と風景』を見事に表していると思います。美しい弦楽器、オーボエやホルンのメロディ、またベトナムの人たちが行進している風景が浮かぶトランペットのメロディ……どれもが親しみやす

く、容易にベトナムメロディーを想像できるでしょう」

最後に、VNSOの再訪を心待ちにしているみなさまに、メッセージをいただいた。

「ハノイは、漢字で『河内』と表わします。僕は、ベトナムの人たちと関西の人たちにとっても共通点を感じています。多くのひととの友情も続いています。ベトナム人の感性から奏でられる音を聴いてほしいと思います」

（取材・文 道下京子）

発売中

[指揮] 本名徹次 [チェロ] 宮田 大
[管弦楽] ベトナム国立交響楽団

チョン・バン：序曲「幸せを私たちに運んでくれた人」
ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 口短調 op.104 / 交響曲 第9番 ホ短調 op.95「新世界より」

2018.7/18(水) 7:00PM

S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円（税込）

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] クレオム info@creomu.com

[主催] 日越外交樹立45周年記念VNSO日本公演実行委員会&ベトナム国立交響楽団 / ザ・シンフォニーホール



宮田 大
Miyata Dai

©Yukio Kojima

トン・コープマン指揮 アムステルダム・バロック 管弦楽団&合唱団 「口短調ミサ」

Ton Koopman

最高の布陣で届ける「口短調ミサ」
斬新な解釈と高度な演奏でファンを魅了する

世界的な古楽奏者を輩出してきたオランダ。その中でも代表的な大巨匠が現代最高のオルガン&チェンバロ奏者、トン・コープマンだ。

指揮の世界にも興味を示した彼が、35歳の時に故郷でアムステルダム・バロック管弦楽団(以下、ABO)を組織したのは1979年。早いもので来年は創立40周年を迎える訳だが、年に数回、古楽の名手が集まって活動するスタイルをとり、荘厳と愉悅を備えた斬新な解釈と高度な演奏技術で、多くのファンを魅了してきた。

そんな名門が2年ぶりに来日。今回の演目は、J.S. バッハの作品から、「マタイ受難曲」や「ヨハネ受難曲」と並ぶ最高傑作のひとつ「ミサ曲口短調」だということから嬉しい。

この大規模な音楽は全27曲構成だが、1724年から数十年間に渡って

書いた作品をJ.S. バッハ自身がまとめ上げたもので、最終的に完成したのは彼が亡くなる前年の1749年だった。そのため、対位法を駆使した厳肅な楽曲から協奏曲風の親しみやすく軽やかなもので、驚くべき多様な様式が用いられており、まさに「音楽の父」の集大成と言えるだろう。

コープマンは、昨年10月にベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の定期演奏会に客演した際にも本作を指揮。筆者はその模様をインターネットで視聴したが、演奏時間が約2時間と長いことから、途中で休憩を挟む形で演奏。モダン楽器の小編成オーケストラによる古楽奏法という折衷的解釈は、低弦を中心とした豊麗な音色と金管の輝かしい咆哮が心地よく、コープマンら出演者は大喝采を浴びて何度も舞台上に呼び戻されていた。

その点、今回のオーケストラは古楽器で、ザ・シンフォニー・ホールの残響の質もベルリンのフィルハーモニーといった意味で異なるので、温かくまろやかな旨味に溢れた名演が期待される。また歌手陣には、前述のベルリン・フィルの公演と同じイエツァ・ベル・アリアス・フェルナンデス(S)、ティルマン・リヒディ(T)、クラウス・メルテンス(Bs)らが再集結。さらに合唱をアムステルダム・バロック合唱団が務めるという、これ以上ない最高の布陣でお届けする。

コープマンは鍵盤奏者としてJ.

発売中

[[指揮] トン・コープマン [ソプラノ] イェツァベル・アリアス・フェルナンデス
[カウンターテナー] マルテン・エンゲルチェス [テナー] ティルマン・リヒディ
[バス] クラウス・メルテンス [管弦楽] アムステルダム・バロック管弦楽団
[合唱] アムステルダム・バロック合唱団

J. S. バッハ: ミサ曲 口短調 BWV232

2018.9/7(金) 7:00PM

S 14,000円 A 9,000円 B 5,000円(税込)

[ご予約・お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] AMATI / ザ・シンフォニーホール

(文 渡辺謙太郎)

S. バッハを得意とし、指揮者としてもABOと「世俗カンタータ」全曲録音を達成するなど、この偉大な作曲家に深い敬愛の念を抱き続けてきた。中でも本作への思い入れは格別で、94年に録音を行う際にABOに併設したのが、他ならぬアムステルダム・バロック合唱団だった。そんな彼らの記念碑的録音から約四半世紀。当時から圧倒的だった緻密さと感動がいつそう増した、演奏史にも残るであろう「ミサ曲口短調」をお聴き逃しなく!!

ブルーノ＝レオナルド・ゲルバー ピアノ・リサイタル

Bruno Leonardo Gelber

初来日公演から50年を経て、
ザ・シンフォニーホールで
円熟の巨匠の“今”を聴く

Interview



1960年代、アルゼンチンから次々と才能あふれるピアニストが出現し、世界中を席巻した。マルタ・アルゲリッチ、ブルーノ＝レオナルド・ゲルバー、いずれもイタリア系の名教師、ヴィンチェンツォ・スカラムツァの門下で、ダニエル・バレンボイムの父も彼に師事した。ピアノ音楽史上、奇跡的な才能の宝庫がアルゼンチンから開花した。

ゲルバーは、ピアノ教師だった母の手ほどきを受けて3歳半からピアノを学び始めた。

「母が生徒たちのレッスンをしている午後、ずっと近くにいて、生徒たちが帰ると、彼らが弾いていた曲を真似て弾いていました」

4歳からスカラムツァに師事

[ピアノ]
ブルーノ＝レオナルド・ゲルバー

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調
op.27-2《月光》／ピアノ・ソナタ 第21番 ハ長調
op.53《ワルトシュタイン》
シューマン：謝肉祭 op.9
ショパン：アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ op.22

2018.10/14(日) 2:00PM

S 5,400円 A 4,320円(税込)

[ご予約・お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセ

ンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

先行予約:5月24日(木)

一般発売:5月27日(日)

し、5歳で公開演奏を披露して注目を集めるが、7歳のときに小児麻痺に罹患し、闘病生活を余儀なくされる。不屈の精神と努力で克服し、9歳のベートーヴェン《ピアノ協奏曲第3番》でピアニスト・デビューを飾り、神童として名を馳せた。

初来日は1968年。日本を代表する音楽評論家、故吉田秀和氏が彼の演奏を絶賛して実現した来日ツアーだった。

「日本の聴衆の皆様が、世界でも指折りの素晴らしい聴衆であることを自信を持って断言したいと思っています。その知性、そして集中力に、私はいつも感動を覚えます。50年間という時間の流れの中で、聴衆の皆様の楽曲への理解は飛躍的に深まり、積極的に私と音楽を共有する喜びを表現してくださることをステージで感じ、嬉しく思っています」

今回のプログラムは、ライプワイクとしているドイツ作品のベートーヴェン、シューマン、そしてショ

パン。強靱なテクニクと輝かしい音色で、華麗で味わい深い演奏を繰り広げることだろう。

「聴いていただく一曲一曲に、私はいつも全身全霊を捧げています。皆様と同じ時間、同じ空間を共にできることを楽しみにしています」

ステージに立つときにいつも胸によぎるのは、最初にピアノの手ほどきをしてくれた母の姿。

「天国にいる母が、いつも傍らにいてくれると感じながらステージに立っています」

七年ぶりのザ・シンフォニーホールでのリサイタルは、ホール開館36周年の10月14日。

「ザ・シンフォニーホールで演奏できることを幸せに思っています。ザ・シンフォニーホールは、理想的な音響を備えたホールです。全身全霊をもって、私自身を表現したいと思っています。聴衆の皆様にお目にかかることを、心から楽しみにしています」

(文 森岡葉)

©Piano à Lyon



ヴァイオリン 三浦文彰

Interview

〈名曲シリーズ〉 大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ソワレ・ シンフォニー Vol.12

大阪フィルハーモニー交響楽団



© 飯島 隆

日本が世界に誇る俊秀ヴァイオリニストが、 銘器を手に掘り下げるモーツァルトの世界

「生まれて初めてオーケストラと共演したのが大阪フィルなんです。よー父も同じコンサートに出演していました」

そのときはまだ小学校高学年。両親がヴァイオリニストという環境に育ち、早くから才能を世に認められた彼は、2009年に16歳でハノーファー国際コンクールに優勝。世界が注目するソリストとして活躍の場を広げている。大阪フィルとも2015年にハチャトゥリアン、2016年にサン＝サーンスの第3番と、協奏曲でステージを共にしてきた。

「とても柔軟性があって、指揮者やソリストの意図に敏感な反応を示してくれる楽団という印象ですね。コンチェルトとしては異例なほど(笑)、練習に時間を費やしていただいたこともあります」

今回の公演で披露するのは、モーツァルトの第3番。この5月に東京で開催されるコンサートでは、指揮者を置かずに自らの「弾き振り」で演奏する曲でもある。

「昨年のことですが、ベートーヴェン

指揮 沼尻竜典



の協奏曲で初めて弾き振りを経験しました。室内的な方向性が強まるというか、オーケストラとの距離感は縮まりますよね。練習はいろいろと大変ですが……。逆に指揮者と一緒のときは、音楽の感じ方をはじめとして、お互いのアイデアを受け入れながら表現を練り上げていく面白みがあります。沼尻竜典さんとは初めての共演なので、非常に楽しみです。曲の解釈もさらに掘り下げられると思いますし」

活動拠点を東京とウィーンに置く三浦文彰にとって、ウィーン古典派の精髓を伝えるモーツァルトの音楽は特別の存在にも違いはない。

「モーツァルトとは、何といってもオペラの作曲家。ヴァイオリンとピアノのソナタのような室内楽でも、あるいは交響曲でも、歌劇の舞台に通じるものが伝わってきます。ヴァイオリン協奏曲でも特に第3番はオペラ的というか、場面ごとのキャラクターがはっきりと出てくる点に惹かれます。第2楽章は一番好きですね。あのメロディーは本当に素晴らしい」

現在の愛器は、2017年から手に入っているストラディヴァリウス。

「それまで使っていたのは1748年製作のガダニニ。古い楽器はデリケートで状態が変化しやすいですが、不思議な調子が良

く、まるで上機嫌な奥さんみたいでした(笑)。これも非常に気に入っていて、今でも大切なのですが、今の楽器は、もう最初に試し弾きしたときから、自分にはとても合っていると思いました。キラキラと輝かしいストラディヴァリウスらしさがありながら、なおかつ音色に深みが備わっている……」

そんなヴァイオリンが、ホールの空間をいかに満たしていくことだろう。

「ザ・シンフォニーホールは大好きですね！響きが温かく、ヨロピアンな印象を受けます。キャパシティとしては広いのに、お客さんを遠く感じません。モーツァルトには凄く良いと思います」

(取材・文 木幡一誠)

[指揮] 沼尻竜典 [ヴァイオリン] 三浦文彰

[管弦楽] 大阪フィルハーモニー交響楽団

モーツァルト: 歌劇『フィガロの結婚』序曲／モーツァルト: ヴァイオリン協奏曲 第3番 ト長調 K.216／ブラームス: 交響曲 第4番 小短調 op.98

2018.10/17(水) 7:00PM 6:50PMより沼尻竜典によるプレトーク
A 5,000円 B 3,000円 (税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] 大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

[主催] 公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会／ザ・シンフォニーホール

先行予約: 5/24(木) 一般発売: 5/30(水)

大阪フィル・チケットセンター他、プレイガイドでは5/29(火)より発売

ヴァディム・ホロデンコ ピアノ・リサイタル

ヴァン・クライバーン優勝！
若きカリスマが贈るショパン

Interview

世界屈指の実力を誇るホロデンコ、
ついにザ・シンフォニーホールヘデビュー！

孤高の天才、ヴァディム・ホロデンコがいよいよ6月、大阪デビューを果たす。
磨き抜かれた超絶技巧と繊細な音楽表現とともに、深い翳りを帯びたその響きで聴く者を感動の渦に巻き込むホロデンコ。日本では、2010年の仙台国際ピアノコンクールでの優勝がきっかけとなり、日本でもとりわけ耳の肥えた専門家や愛好家らの間で、その底知れぬ才能が話題となり、リピーターも多い。その後、シュベルトやヴァン・クライバーンの国際コンクールで次々と優勝し、ホロデンコは瞬く間に世界の檜舞台へと駆け上ってゆ

く。
リストやアルカン、ロシアの近現代の作品など、超絶技巧的で重量級のプログラムをふんだんに披露してきたホロデンコであるが、今回のザ・シンフォニーホールでのプログラムは、なんとオール・ショパン・プログラム！彼自身、このプログラムについて「私にとってもチャレンジ」だと述べる。
ホロデンコにとって、ショパンは「幼ない頃から好きな作曲家」であり「絶対的な作曲家」でもある。モスクワ音楽院時代の恩師、ゴルノスタエヴァ教授のクラスでは、ショパンは「神聖」な作曲家と捉えられてい

Vadym Kholodenko

[ピアノ] ヴァディム・ホロデンコ

オール・ショパン プログラム

ノクターン 第7番 嬰ハ短調 op.27-1/第8番 変ニ長調 op.27-2

ピアノソナタ 第2番 変ロ短調 op.35

エチュード op.25 1.変イ長調「エオリアン・ハーブ」/
9.変ト長調「蝶々」/11.イ短調「木枯らし」 ほか全曲

2018.6/30(土) 7:00PM

全席指定 4,000円(税込)

[ご予約・お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

[主催] 日本アーティスト/ザ・シンフォニーホール

発売中

たという。
まず、このリサイタルの柱となっている《エチュード集 作品25》について「ショパンの作品10と作品25のエチュード集は、いわばバッハの平均律の1巻と2巻のような位置づけでしょうか。作品25は、より成熟した作品と言っても良いと思います」
ショパンの3曲のピアノ・ソナタのなかから、彼は第2番「葬送」を選んだ。「第2番のソナタはその『ゴージャス』な第3楽章に惹かれ、小さい頃から弾きたいと思っていました。そのストーリー性、展開と技法において不滅の傑作です」
このリサイタルでは、ホロデンコが愛してやまないファツィオリのピアノのなかでも最大のモデル、F308(約3メートル)が使用される。豊かな音量と低音域の表現の幅が大きなこの楽器は、最近では世

界のコンクールの公式楽器にも選ばれている。「聴衆の方々にとってもユニークな経験になることでしょう」と彼は言う。
これまでも何度か来日を重ね、「日本語の本を買って勉強していた時期もある」というホロデンコ。彼の大阪滞在は、過去に一度だけ、しかも一晩だけだった。「大阪駅のそばの居酒屋で楽しく食事をしました。私が訪れたことのある他の都市とは全く違う雰囲気を感じ、とても馴染めました！」と振り返る。それゆえ、今回の来日では、高水準の音響を誇るザ・シンフォニーホールでの演奏を、彼はとても楽しみにしている。
高度に洗練されたピアノイズムとともに、彼ならではの濃密な叙情性に満ちあふれる一夜になるに違いない。

(文 道下京子)



東京佼成ウインドオーケストラ 第3回大阪定期演奏会

名門吹奏楽団が待望の大阪定期コンサート!
若き俊才マエストロの真摯な
解釈と鋭敏な指揮に期待!!

Interview



©Atsushi Yokota

Tokyo Kosei Wind Orchestra

東京佼成ウインドオーケストラ

指揮・カーチュン・ウォン



K a h c h u n W o n g

2016年からスタートした名門・東京佼成ウインドオーケストラ（以下、TKWO）の大阪定期演奏会も、早いもので3回目。第1回は藤岡幸夫、第2回は飯森範親と、日本を代表する指揮者を迎えてきたこのシリーズだが、今回は、巨匠クルト・マズアの愛弟子で、グスタボ・ドウダメル、ベルナルト・ハイティンク、ハインツ・ホリガー、エサールベッカ・サロネンなどそうそうたる面々からも薫陶を受けた俊才カーチュン・ウォンが登場する。

1986年シンガポール生まれの彼は、2016年のグスタフ・マラー国際指揮者コンクールで優勝。その際、「真摯な音楽性を持ち、今日からでも国際舞台で活躍できる才能」と大絶賛され、今年9月からはニュルンベルク交響楽団の首席指揮者に就任する若手注目株だ。彼はまた、7歳でトランペットを始め、シンガポールの軍楽隊に加わった経験の持ち主ということもあり、吹奏楽における鋭敏で的確なタクトが期待される。

そんな彼が今回の公演で指揮するのは、バーンズ「呪文とトッカータ」、ヴァンデルローストの交響詩「スバルタクス」、アーノルド（近藤久敦編）「ピータールー序曲」、ムソルグスキーの組曲「展覧会の絵」など、いずれも吹奏楽ファンに愛される色彩豊かな名曲。実力派かつ個性的な精鋭が集うTKWOならではの繊細さと、シャープさと、爆発力とを兼ね備えた、一期一会の名演に酔いたい。

「呪文とトッカータ」は、TKWOが作曲者自らの指揮で共演したこともある十八番のひとつ。「呪文」におけるオーボエとユーフォニアムのソロや「トッカータ」で華々しく活躍する打楽器など、各楽器の聴かせどころ十分で、構成感にも優れているのが特長だ。

1988年に書かれた「スバルタクス」は、作曲から今年で30周年。古代ローマの剣闘士の反乱の主導者を描いたこのドラマティックな3部構成の作品は、吹奏楽ファンなら誰もが知る名曲だろう。ちなみに作曲者が、地元の雄才オサカ・シオン・ウインド・オーケストラを指揮したライブ録音も存在するので、両者の聴き比べもお薦め。

「ピータールー序曲」は、1967年のイギリスの労働組合100周年を記念した委嘱作品だが、冒頭の印

象的なオーボエの哀歌をおそらく奏でるであろう宮村和宏（TKWO副コンサートマスター）の妙技に是非ご注目。

そして、トリを飾る「展覧会の絵」。もともとはピアノ曲で、ラヴェルの有名なオーケストラ版をはじめ、多くの編曲が存在するが、今回は大阪音大准教授・高橋徹の版を使用。原曲から新たにアレンジした気鋭の作品で、アマチュアにも大変人気が高い。管楽器の特性を活かした斬新な響きの数々を存分に楽しみたい！

(文 渡辺謙太郎)

[指揮] カーチュン・ウォン [吹奏楽] 東京佼成ウインドオーケストラ

J.バーンズ: 呪文とトッカータ/J.ヴァンデルロースト: 交響詩「スバルタクス」/M.アーノルド: ピータールー序曲/M.ムソルグスキー: 組曲「展覧会の絵」

2018.11/24(土) 7:00PM S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円 (税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] 東京佼成ウインドオーケストラ 03-5341-1155

[主催] 佼成文化協会 東京佼成ウインドオーケストラ/ザ・シンフォニーホール

Shion&佼成セット券 S 9,000円(各公演1枚ずつ計2枚)

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ対象公演: 11/25(日) 第122回定期演奏会

セット券一般発売: 6/14(木) ※ザ・シンフォニー チケットセンターでの取扱はございません。

[Shion&佼成セット券ご予約] TKWOチケットサービス 0120-692-556

先行予約: 5/24(木) 一般発売: 7/11(水)

ザ・シンフォニーホールが真夏にお届けする、“超”人気オルガンコンサート!

プロジェクションマッピング ×パイプオルガン 超絶のオペラ座の怪人

オペラ・ミュージカルの名場面を
迫力満点に体感できる“超絶”コンサート!



【オルガン】石丸由佳

ミュージカル『オペラ座の怪人』★/ミュージカル『レ・ミゼラブル』★/映画『オズの魔法使い』より『Over the rainbow』/映画『LA LA LAND』★/映画『サウンド・オブ・ミュージック』/ミュージカル『キャッツ』★/映画『天使にラブソングを』/映画『美女と野獣』★
(★プロジェクションマッピング付き)

2018.8/26(日) 2:00PM

全席指定 2,700円(税込)

【ご予約・お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

※4歳以上のお子様からご入場可能です。
※休憩なし。約60分間のコンサートです。

発売中

ザ・シンフォニーホールの“超人気公演”『超絶のスター・ウオーズ』に続き、2018年は新企画『超絶のオペラ座の怪人』も開催される。プロジェクションマッピング×パイプオルガン コンサートの豪華2本立てがこの夏を盛り立てる。
チケット発売スタートからすでに話題となっている、この新企画は、「オペラ座の怪人」をはじめ、「レ・ミゼラブル」「キャッツ」「LA LA LAND」



AND「サウンド・オブ・ミュージック」など、世界中で愛され続けているオペラやミュージカル、映画音楽の傑作を、プロジェクション・マッピングによる映像と光の演出が加わる豪華なステージ。パイプオルガンコンサートの新たな魅力、可能性を発見できるエンターテインメントショーに期待が高まる。

この「超絶」シリーズは、オルガニスト石丸由佳と、巨大パイプオルガンがあるホールとして、いち早くプロジェクション・マッピングを導入していたザ・シンフォニーホールによるタッグで誕生。大人から子供まで、幅広い層の音楽ファンが楽しめるイベントとして注目を集めた。

そして、コンサートは開催スタートから2年連続で瞬く間に完売が続いた。その背景には、楽器が持つ魅力もあるだろう。オルガンは、フルートやトランペットのような音色を出し、時にはオーケストラの重厚なハーモニーまでホール中に神々しく響かせる。世界中で愛されている耳馴染みのある名曲だからこそ、オルガンはこんな音も出せるのだと驚く瞬間が待ち受けている。
万華鏡のようなオルガンの音色とプロジェクション・マッピングの世界にひとたび浸れば、ザ・シンフォニーホールという大きな船に乗って、オペラやミュージカル、映画の名場面を巡るような至福の時を過ごせるだろう。

(文 金子真由)

オールバッハ名曲選!! 真夏のオルガンコンサート 2018 バッハ国際コンクール優勝 富田一樹のバッハ!!

268年の時を経て蘇る、美しいバロック音楽の調べ

日本人で初めて、バッハ国際コンクールで優勝を果たしたオルガニスト富田一樹が、ザ・シンフォニーホールのもうひとつの人気パイプオルガンコンサート、「オールバッハ名曲選!! 真夏のオルガンコンサート」に登場。J・S・バッハの命日にあたる7月28日に荘厳な音色をお客様にお届けする。

268年の時を経て、バッハに魅せられた若きオルガニストが作曲家の遺した美しいバロック音楽の調べを蘇らせる、オールバッハプログラム。美しい旋律が心地よく胸に届く「G線上のアリア」、富田がバロック音楽の可能性を最大限に、むしろ限界を超えた表現を持つ力作と語る「幻想曲とフーガト短調」など、オルガンを通して時空を超え、バッハと富田が魂を寄せ合う瞬間となるだろう。
真夏の夜、幻想的なハーモニーに浸ってみてはいかがだろうか。

発売中

(文 金子真由)



オルガン
富田一樹

【オルガン】富田一樹

J.S.バッハ:前奏曲とフーガ ハ短調 BWV546/管弦楽組曲第3番より『G線上のアリア』 BWV1068-2/いざ、もろびと神に感謝せよ BWV657/フーガ 短調『コレリリの主題による』 BWV579/目覚めよ、と呼ぶ声あり BWV645/いと高きところには神にのみ栄光あれ BWV662/幻想曲とフーガト短調『大フーガ』BWV542

2018.7/28(土) 7:00PM

全席指定 2,160円(税込)

【ご予約・お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

※休憩なし。約60分間のコンサートです。

ピアノ シャルル・リシャール＝アムラン



ショパン国際ピアノコンクール 第2位 アムラン ショパンピアノ協奏曲1番&2番

アムランが一夜で織りなす、
若きショパンによる2つのピアノ協奏曲

指揮 佐藤俊太郎



[ピアノ] シャルル・リシャール＝アムラン [指揮] 佐藤俊太郎
[管弦楽] 大阪交響楽団

ショパン:ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 op.11
ショパン:ピアノ協奏曲第2番 ヘ短調 op.21

2018.9/14(金) 7:00PM

S 6,480円 A 5,400円 B 4,320円 (税込)

[ご予約・お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール／一般社団法人大阪交響楽団／日本アーティスト

先行予約:5/24(木) 一般発売:5/27(日)

ピアニストのキラリと光る音楽性、熟達した表現力は、たった一人で立つステージの演奏から伝えられるばかりではない。音楽は他者との対話でもあり、呼吸の測り合いでもあり、誰かと共に作り上げる一つの世界でもある。

5月12日のオール・ショパンプログラムで登場するアムランが、早くもザ・シンフォニーホールへと舞い戻り、今度はオーケストラとの豪華共演で一夜を彩る。佐藤俊太郎のタクトによる大阪交響楽団と熱演するのは、やはりショパンである。それも一晩にして、かの「ピアノの詩人」が残したピアノ協奏曲を二作とも聴かせる。

ショパンの二つの協奏曲は、どちらもショパンが故郷ポーランドのワルシャワからフランスのパリへと拠点を移す以前の、19歳、20歳という若かりし日に立て続けに書かれた作品だ。その歌心に満ち溢れた旋律美や、ピアノのきらびやかなパッセージに、若きショパンの野心や、当時恋心を抱いていた女性への熱い想いが投影されている。

アムランが2015年のショパン国際コンクールのファイナル・ステージで、その瑞々しく伸びやかな演奏によって、聴衆を沸かせ審査員たちの心を掴んだのは、第2番の協奏曲だった。当時26歳という、今や「遅咲き」とされる年齢のスターが生まれた瞬間だった。第2位に輝いたアムランは、以来、世界中の舞台でショパンの協奏曲を演奏し続けてきた。精錬されたアムランの音色と、オーケストラとの充実したハーモニーを存分に楽しみたい。

(文 飯田有抄)

BACH IS IN THE AIR

～バッハとジャズが出会う時～

イタリアを騒然とさせたあの男たちがついに初上陸!!

化学変化するバッハとジャズ
2人の鬼才による即興の妙味

Interview

[ピアノ] ラミン・バーラミ／ダニーロ・レア

J.S.バッハ:ゴルトベルク変奏曲 BWV988より「アリア」／心と口で行くと命も BWV147より「主よ、人の望みの喜びよ」／平均律クラヴィア曲集より 前奏曲 第1番 BWV846／平均律クラヴィア曲集より 前奏曲 第2番 BWV847／平均律クラヴィア曲集より 前奏曲 第10番 BWV855a／管弦楽組曲 第3番 BWV1068より「G線上のアリア」／フルート・ソナタ BWV1031より「シチリアーナ」／無伴奏ヴァイオリン・パルティータ 第1番 BWV1002より「サラバンド」 ほか

2018.9/12(水) 7:00PM S 4,320円 A 3,240円 (税込)

[ご予約・お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] イタリア文化会館・大阪／ザ・シンフォニーホール

発売中



ダニーロ・レア

ラミン・バーラミ

©Francesco Giusti

なんて斬新なバッハ！私たちが聞き慣れている美しいバッハの音楽がたしかに聞こえてくるものの、新たな音の衣装をまとい、これまでとはひと味もふた味も違う世界が開けてくる。

イラン出身で現代の若きバッハ弾きとして確かな歩みをとげているラミン・バーラミ。イタリアのジャズ界の重鎮で卓越したピアニストとして名高いダニーロ・レア。異なるジャンルで活躍する二人の鬼才ピアニストが、バッハに化学変化を起こしてくれる。

コンサートでは、「主よ、人の望みの喜びよ」「G線上のアリア」や「ゴルトベルク変奏曲」の「アリア」などバッハのおなじみの名曲がずらりと並ぶが、これらがすべて即興を交えて演奏される。バーラミがバッハの原曲を担い、そこにレアが繊細な装飾を加えていくスタイルがこのデュオの基本。その演奏は格調高く、心地のよい響きに満たされており、ときに敬虔ささえ漂うから不思議だ。「バッハ本来の音楽が置き去りにされることもジャズがバッハを裏切ることもなく、このふたつが自然に融合されるのは今回が初めて」(バーラミ)というから楽しみだ。

「バッハの音楽は一般に考えられているよりも即興的なのです」と語るレア。二人のピアノは、ジャズ風のスウィングを強調しすぎることなく、むしろバッハの音楽に新しい声加わるといった印象だ。親日家で訪日を心待ちにしている二人が、バッハを愛する大阪の音楽ファンへとびきりスリリングな一夜を贈ってくれるに違いない。

(文 伊藤制子)



指揮 藤岡幸夫

関西フィル 第4回親子定期演奏会

お気に入りの1曲を親子一緒、自由自在に探せる
ワクワククラシック音楽の旅!!

発売中



©青柳聡

関西フィルハーモニー管弦楽団

©s.yamamoto

[指揮・お話] 藤岡幸夫

[管弦楽] 関西フィルハーモニー管弦楽団

ショスタコーヴィチ: 祝典序曲/エルガー: 行進曲「威風堂々」第1番/
ボロディン: 歌劇「イーゴリ公」より「だったん人の踊り」 ほか

2018.8/2(木) 2:00PM

おとなA 4,000円 B 3,000円

マエストロ・ビューシート 3,500円

小人(4才~中学生まで) 一律1,500円(税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] 関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6577-1381

[主催] 関西フィルハーモニー管弦楽団/ザ・シンフォニーホール

※4歳以上のお子様から入場可

親子向けのクラシック演奏会という、脳を刺激する、心を豊かにするなど、いわゆる教育的なテーマを設けた上で選曲を行う場合が多い。だが、それと明確に一線を画するのが今回の公演。名門・関西フィルと首席指揮者の藤岡幸夫が、クラシック音楽から古今の名曲を厳選。また、メディア出演経験も豊富な藤岡の楽しくわかりやすいトークを交えてお届けする。

プログラムは、華々しく叙情的なショスタコーヴィチ「祝典序曲」、激しい雷が連続して落ちる様子を描いたJ.シュトラウスⅡ世のポルカ・シュネ「雷鳴と雷光」、悲劇的なオペラの決闘直前の場面で流れるマスカニー「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲、運動会の楽しいBGMとしてもなじみのロッシニ「ウィリアム・テル」序曲より「スイス軍の行進」など。喜怒哀楽の傑作をバランスよく配置し、しかもそれらを一流の本物の演奏でお贈りするのだから、自分だけのお気に入りの1曲が必ず見つかるはずだ。そうした音楽旅行の中で交わした親子の会話は、夏休みの思い出となって心に残り続けるだろう。名曲の宝庫であるクラシック音楽の魅力を純粹に味わってみたい。それが、「音楽を楽しむ」と書く「音楽」の本懐であり、ホールから聴き手に向けた願いでもあると思う。

また今回の公演は、普段見られない指揮や演奏の様子をじっくりと観察できるパイプオルガン前の座席を「マエストロ・ビューシート」として販売。好奇心旺盛な親子に是非おすすめだ!

(文 渡辺謙太郎)

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ 第120回定期演奏会

[指揮] フィリップ・スパーク

[吹奏楽] オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ

オール・スパーク・プログラム: ナポリの休日/スラヴォニカ! (日本初演)/ドラゴンの年(2017年版)/交響曲第2番「サヴァンナ・シンフォニー」

2018.6/3(日) 2:00PM

S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円 ベア席 7,000円

学生割引(S、A、B席1,000円引き)(税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

※ベア席、学生席は、Shionチケットセンターのみでの販売。

Shionチケットセンター 0800-919-5508

[お問合せ] Osaka Shion Wind Orchestra

0800-919-5508

[主催] 公益社団法人 大阪市音楽団

発売中

Shionの第120回
メモリアル定期。

吹奏楽の神様スパークが
3年ぶりに再降臨!!

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ



指揮 フィリップ・スパーク



創設以来、クラシックからポピュラーまで誰もが楽しめるコンサートを展開してきたオオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ(以下、Shion)。

120回目のメモリアル定期演奏会では、切れ味鋭く斬新な作風で知られるイギリスの作曲家で、吹奏楽の神様とも讃えられるフィリップ・スパークを指揮者に迎える。彼は日本との関わりが深く、東日本大震災に際しては「陽はまた昇る」を作曲。Shionとは2015年に初共演を果たし、満場の観衆の中で繰り広げた熱演はライブ録音も行われた。その感動から約3年の時を経て再び邂逅するスパークは、今回もすべて自作で固めた充実のプログラムで花を添える。

まずは2009年初演の「ナポリの休日」。その華々しく颯爽とした語り口にはスパークならではの至芸が光る。続く「スラヴォニカ」はこれが日本初演ということもあり、彼のファンは必聴の1曲と言えるだろう。同じくスパークのファンから多くの期待と注目を集めるのが、1984年初演の代表作「ドラゴンの年」に打楽器、低音の木管楽器群、コントラバスを加えてスケールアップした2017年編曲版。

そして今回のメインが、交響曲第2番「サヴァンナ・シンフォニー」。都市計画が進むアメリカ・ジョージア州の歴史や建造物から靈感を得た密度の高いこの傑作を聴きながら、大規模な再開発が進む大阪の街並みや、さらなる飛躍を模索するShionの未来に思いを馳せよう!

(文 渡辺謙太郎)

美しき日本のうた「秋の月」

小松英典が心で歌い上げる明治、大正、昭和の懐かしい名曲選



【バリトン】小松英典 【ピアノ】田中悠一郎
【おはなし】芳村真理

荒城の月／秋の月／かやの木山の／鐘が鳴ります／秋の夜／待ちぼうけ／舟歌／くちなし／さびしいカシの木／しぐれに寄する抒情／松島音頭／落葉松／山の煙／北上夜曲／忘れな草をあなたに／見上げてごらん夜の星を／遠くへ行きたい／川の流れるように／愛のフィナーレ

2018.10/20(土) 7:00PM

全席指定 3,240円(税込)

【ご予約・お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

先行予約:5/24(木) 一般発売:5/27(日)

ザ・シンフォニーホールがお届けする、日本の名曲選「美しき日本のうた」の3回目の開催が決定。2018年も、ドイツを拠点に活躍しているバリトン歌手 小松英典が登場する。

時代を超えて、今もお愛され続ける「荒城の月」「秋の月」「待ちぼうけ」「落葉松」「山の煙」「遠くへ行きたい」など、明治、大正、昭和の時代を彩った名曲の数々を披露する。

「滝廉太郎や山田耕作はドイツへ留学し、シューマンやブラームスといったドイツ作曲家の影響を強く受けている。ドイツ歌曲と日本歌曲とのメロディに違和感はありません」と小松英典は語る。

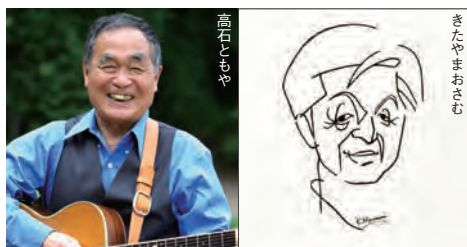
40年以上もドイツで暮らしながら、恩師のために秋田県大仙市でミニコンサートを開くなど、いつもふるさと思いを、昔の友人を大切にしている。そんな小松英典だからこそ、郷愁が歌に込められ、心にしみ入る日本の言葉、美しい旋律を歌い上げることができるのだろう。

ザ・シンフォニーホールに響き渡る温かい歌声で、切なさや懐かしさに思いを馳せてみたい。

(文) 金子真由

あの頃のフォークを歌おう

高石ともやコンサート -北山 修 作品集より-



【出演】高石ともや 【スペシャルゲスト】きたやまおさむ
【ゲスト】まつぼっくり少年少女合唱団

花のように／ユメカシーラ(恐竜の唄)／あの素晴らしい愛をもう一度／戦争を知らない子供たち'83／再会／きつねの唄／白い色は恋人の色／初恋の人に似ている／さすらいの子守唄 ほか

2018.8/3(金) 6:30PM

全席指定 7,500円(税込)

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【お問合せ】エス・ビー・エス 06-6204-0412

【主催】エス・ビー・エス／ザ・シンフォニーホール

一般発売:5/28(月)

ファン必見!レジェンドたちのスペシャル企画がザ・シンフォニーホールで実現!

フォークソング界のレジェンド、歌うマラソンランナーとも称される高石ともや。今回はその高石が、これまたフォークソング界のレジェンドと呼ばれる、きたやまおさむを迎えるというスペシャル企画!

北山修は「あの素晴らしい愛をもう一度」「戦争を知らない子供たち'83」「白い色は恋人の色」「再会」「花のように」「ユメカシーラ(恐竜の唄)」「きつねの唄」「初恋の人に似ている」「さすらいの子守唄」など、多様なテーマで青春や人生を歌い上げ、日本の音楽界に珠玉の名作を残してきました。誰でも聞き覚えがあり、学校の音楽の教科書に掲載された名曲もあります。関西フォークの初期から約50年間、共に歩いて来た、高石ときたやまの世界を皆さんとハーモニーしながら心楽しく音楽の旅をしましょう!ゲストの「まつぼっくり少年少女合唱団」の純真無垢なコーラスとハーモニーも楽しみの一つです。どんなコラボレーションを見せてくれるのか、ご期待下さい。

大阪交響楽団 0歳児からの光と映像で楽しむオーケストラ Vol.12

夏はパイプオルガン

発売中

【指揮】横山 奏 【オルガン】原田仁子
【歌のお兄さん・お姉さん】新井宗平／山本かずみ
【管弦楽】大阪交響楽団

J・S・バッハ:トッカータとフーガニ短調 より(パイプオルガンソロ) ◆「なぐむらたかし:でかけよう、オーケストラと一緒にピクニックへ」「童謡唱歌を使った楽器紹介メドレー」/マスカーニ:歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲 ◆★/エルガー:行進曲「威風堂々」第1番 ◆★ ほか (★プロジェクション・マッピング ◆パイプオルガンつき)

2018.7/30(月)

午前の部:11:00AM 午後の部:2:00PM

おとな S 2,500円 A 2,000円 B 1,500円(税込)

こども S 1,500円 A 1,000円 B 800円(税込)

※こども…0歳児から小学生 ※B席は未就学児不可※乳幼児のお子様(お膝の上でも)必ず座席券をご購入ください。

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【お問合せ】大阪交響楽団 072-226-5522

【主催】一般社団法人大阪交響楽団／ザ・シンフォニーホール

ファミリーの「あったらいいな!」を叶える、人気親子コンサート



煌びやかなプロジェクションマッピングと迫力満点のオーケストラサウンドで、ご家族みんなを笑顔にする、0歳から楽しめる「コンサート」。今回はオルガニスト原田仁子が登場し、マスカーニの歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」やエルガーの行進曲「威風堂々」など、聴き馴染みある名曲を演奏。オーケストラ＆パイプオルガンの多彩な音を届けます。

さらにお子様のハートをキャッチする、音楽リズム遊びコーナー、歌のお兄さんとお姉さん、大阪交響楽団の弦楽四重奏によるロビーコンサートもあって、内容盛りだくさん!このコンサートではホールに授乳室、おむつ室を完備しているので、安心して楽しめます。こんなコンサートがあったらいいな、を叶える人気コンサートにぜひお越しください。



[津軽三味線] 高橋竹山

新じょんから変奏曲／弥三郎節 (ほか)

2018.8/3(金) 1:00PM

全席指定 3,000円(税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] エス・ビー・エス 06-6204-0412

[主催] エス・ビー・エス／ザ・シンフォニーホール

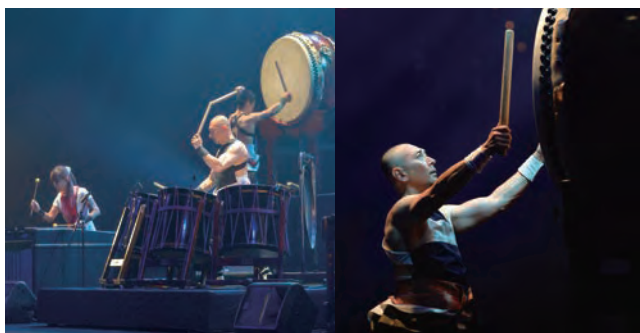
一般発売 5/28(月)

初代竹山没後20年メモリアルコンサートⅡ ～「民謡の心」唄から三味線へ、三味線から唄へと繋ぐ～ 津軽三味線二代目 高橋竹山コンサート

ひとたび聴けば心奪われる、津軽三味線の響きと唄

昭和40年代から50年代にかけて、日本に津軽三味線ブームを巻き起こし、全米7都市(ニューヨーク、ワシントンDCなど)10回公演では、厳しい論評で知られるニューヨーク・タイムズから、まるで魂の探知機でもあるかのように、聴衆の心の共鳴音を手繰り寄せてしまう。名匠と呼ばずして何であらう!と絶賛され、津軽三味線の名を世界に知らしめた初代の高橋竹山。その初代に18歳で入門し、6年間の内弟子生活を経て高橋竹山の名前を授かり、日本全国各地のみならず世界の演奏旅行でも師と共演してきた。師亡き後も、ジャズピアノの山下洋輔、フォークシンガー・小室等、舞踊家・田中浜、劇団文化座座長・佐々木愛(二人舞台)など、多彩なアーティストと共演し研鑽を積んできた。

初代竹山没後20年を迎えたメモリアルイヤー、初代から受け継ぎ、そして磨いてきた津軽の心、魂を揺さぶる津軽三味線の響きと唄を存分にお楽しみください。



[出演] 和太鼓松村組

曲目未定

2018.8/2(木) 7:30PM

全席指定 3,000円(税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] エス・ビー・エス 06-6204-0412

[主催] エス・ビー・エス／ザ・シンフォニーホール

一般発売 5/28(月)

The Symphony Hall×和太鼓松村組 夏祭り2018 ～夏の夜の天つ風～

真夏の夜に鼓動高鳴る、和太鼓の勇壮な響き

和太鼓の響きとマリンバ、オカリナ、南米アングレスの民族楽器などの融合で、独自のサウンドを作り出す和太鼓松村組が、8月にコンサート「夏祭り2018」を開催します。

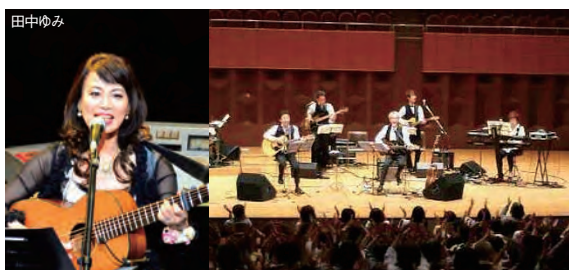
毎回のコンサートで大好評を博している和太鼓松村組の今回のテーマは「夏祭り」～夏の夜の天つ風～。もともとはマリンバ・打楽器奏者でオーケストラメンバーとしての経験を持つ松村公彦ですが、和太鼓の魅力に惚れ込み、現在は他には例のない音楽作りを追求しています。

バネのように身体をしならせて、渾身の力で打ち込むその和太鼓の迫力は必見!さらに、ホールを優しく包みこむような、マリンバ、オカリナ、ケーナやチャランゴの音色、躍動感あるパフォーマンスにも注目です。

ホールの隅々まで、また、身体の内芯までに響き渡る迫力満点のサウンドを、真夏の夜には是非お楽しみください。

懐かしのあの歌を一緒に歌おう! 「歌声ホール vol.8」 ～大合唱で暑さを吹きとばそう!～

この夏は大好評のシモンズ 田中ゆみと一緒に大合唱しよう!



[出演] 小泉陽子、下園弘明&フレンズ [スペシャルゲスト] 田中ゆみ(シモンズ)

夏の思い出／白いサンゴ礁／恋の季節 (ほか)

2018.8/29(水) 3:00PM

全席指定 3,000円(税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] エス・ビー・エス 06-6204-0412

[主催] エス・ビー・エス

一般発売 5/28(月)

ステージと会場が一体となって大合唱するこの歌声ホール。楽しいトークを交えながら、ソングリーダーと共に、生演奏で歌う懐かしい昭和歌謡、童謡、唄歌、ロシア民謡、そしてフォークソングの数々。ホールの響きの良さもあって、他では味わえない盛り上がりやりを体感していただけます。

今回は真夏の開催ということで、「大合唱で暑さを吹きとばそう!」と題し、爽やかな夏をイメージさせる曲をたっぷりお届けするべく、70年代にフォークソングで一世を風靡した女性デュオシモンズの田中ゆみをスペシャルゲストとしてお迎えします。当時の懐かしい思い出やヒット曲を披露していただき、一緒にあの頃にタイムスリップしたいと思います。ご参加の皆様にはオリジナルの歌集を貸出しますので、歌詞がわからなくても大丈夫。数ある歌声イベントとはひと味もふた味も違う、この「歌声ホール」。終演後には暑さを忘れ、皆様きつと素敵な笑顔になれるでしょう。

新たな室内楽の楽しみ方を提案し続ける弦楽五重奏団の秋コンサート

The Symphony Hall String Quintet Vol.4

発売中



写真左から
岡本伸一郎(大阪交響楽団 / アソシエイト・コンサートマスター) / 田野倉雅秋(大阪フィルハーモニー交響楽団 / 首席コンサートマスター) / 北口大輔(日本センチュリー交響楽団 / 首席奏者) / 木下雄介(大阪フィルハーモニー交響楽団 / トップ奏者)

【弦楽合奏】The Symphony Hall String Quintet

モーツァルト：ディベルティメント 変ロ長調 K.137

ヤナーチェク：弦楽のための組曲

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第9番 長調「クロイツェル」 op.47
(作曲者による弦楽五重奏版)

2018. 9/3(月) 7:00PM

全席指定 2,160円(税込)

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【お問合せ】大阪アートエージェンシー 072-648-3852

【主催】ザ・シンフォニーホール

田野倉雅秋、岡本伸一郎、木下雄介、北口大輔、村田和幸。関西の主要オーケストラに所属するトッププレイヤーから成る弦楽五重奏団「ザ・シンフォニーホール ストリング クインテット」が、待望の4回目となるコンサートとして9月3日に開催する。

これまでヴァイオリンとコントラバスでピアソラのタンゴを演奏したり、ピッツィカート(弦を指で弾く技法)を取り入れたり、また、曲目ごとに変幻自在に編成を変え、遊び心あふれるアンサンブルを披露してきた。ステージでは、それぞれ名プレイヤーたちの個性が光り、オーケストラ演奏では見ることのできない新たな一面、魅力が毎回生まれている。

コンサートマスターを務めるメンバーの田野倉雅秋は、「2018年は、もつとバラエティに富んだ演目を取り入れ、まだまだ知られていない隠れた名曲へ挑戦していきたい」と語る。

今回のコンサートでは、モーツァルト「ディヴェルティメント 変ロ長調 K.137」や、近年になって世界的に注目を集めるようになった、ヤナーチェクの「弦楽のための組曲」など意欲的なプログラムが並ぶ。

演奏前には、メンバーによるわかりやすい曲目解説もあり、それぞれの曲に対するアプローチにも注目したいところ。コンサートを重ねるごとに、ザ・シンフォニーホールならではの音作りにも磨きをかけてきたクインテット。巧みで独創的な演奏に耳を傾ければ、室内楽の知られざる魅力に心を奪われることだろう。

(文 金子真由)

巨匠 ハイドシェックと関西を代表する奏者たちの夢の共演

エリック・ハイドシェック with ザ・シンフォニーホール チェンバーアンサンブル

発売中



田部井剛

©Shigeto Imura

フランスを代表するピアノリストのエリック・ハイドシェック。その個性的なピアノイズムで我が国にも多くのファンがいるが、来日50周年記念となる6月26日のコンサートで、ザ・シンフォニーホール チェンバーアンサンブルと共演する。同アンサンブルは関西を代表するオーケストラから、首席級をはじめとする腕ききの弦楽器奏者11人が参加し、2016年に結成されたフレッシュな団体である。

これまで定期的に公演を行い、着実にファンを増やしてきた。

優雅さと大胆さを備えた現代の巨匠ハイドシェックは、今回、モーツァルトのピアノ協奏曲の第二楽章ばかりという果敢なプログラムを組んだ。デビュー以来、稀代のモーツァルト奏者として高い評価を得てきたハイドシェック。繊細な歌心が大きなポイントとなる第二楽章ばかりの選曲では、オーケストラにもリリカルな美しさと緻密な音楽づくりが不可欠になる。進境著しいザ・シンフォニーホール チェンバーアンサンブルに大きな期待がかかるので、同アンサンブルの好サポートにぜひ注目したい。



エリック・ハイドシェック

【ピアノ】エリック・ハイドシェック

【指揮】田部井剛

【弦楽合奏】The Symphony Hall Chamber Ensemble

〈オール・モーツァルト・プログラム〉

ピアノ協奏曲 第14番 変ホ長調 K.449 より 第2楽章

ピアノ協奏曲 第16番 ニ長調 K.451 より 第2楽章

ピアノ協奏曲 第21番 ハ長調 K.467 より 第2楽章「みじかくも美しく燃え」

ハイドシェック独奏 ほか

2018. 6/26(火) 7:00PM S 5,000円 A 4,000円(税込)

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【お問合せ】コンサートイマジネーション 03-3235-3777

【主催】コンサートイマジネーション / ザ・シンフォニーホール

なお今回はファゴット、オーボエ、ホルン、そしてフルートの客演奏者を招いた特別編成でお送りする。指揮はハイドシェックとしばしば共演し、揺るぎない信頼を寄せられている田部井剛で、ソロ、オーケストラの双方から、モーツァルトならではの魅力を引き出してくれることだろう。

(文 伊藤制子)

ヴァイオリニスト 古澤 巖
ザ・シンフォニーホールビッグバンド
1年ぶりに待望の共演が決定!

[スペシャルゲスト]

古澤 巖

Vol. 11

Big Band

The Symphony Hall

Music Director 菊池 寿人

ロベルト・ディ・マリーノ: Olas / Margarita
リチャード・ロジャース: My Funny Valentine
ディジー・ガレスピー: マンテカ
ピー・ウィー・キング: テネシーワルツ
ジョン・バリール: 映画「007」より
ジェームズ・ボンド・メドレー

2018
7.24(火) 7:00pm開演 (6:00pm開場)
S席 5,400円 A席 4,320円 B席 3,240円(全席指定・税込) **発売中**

ザ・シンフォニーホール
主催: ザ・シンフォニーホール 制作: 大阪アートエージェンシー

ご予約・お問い合わせ
大阪アートエージェンシー
072-648-3852 (平日10:00~17:00)
※未就学児童入場不可 ※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

ご予約
ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (10:00~18:00 火曜定休) <http://www.symphonysall.jp>
e+(イープラス) <http://eplus.jp> (パソコン・携帯) チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:110-602]
ローソンチケット 0570-084-005 [Lコード:52142] 0570-000-407 (オペレーター対応 10:00~20:00)

お得な3回セット券発売中!

[スペシャルゲスト]
2018. 7.24(火) Vol.11 [ヴァイオリン 古澤 巖]
2018.10.30(火) Vol.12 [サクソ 本田 雅人]
2019. 1.22(火) Vol.13 [テノール 加藤 ヒロユキ]
12,960円(税込)

※ザ・シンフォニー チケットセンターと大阪アートエージェンシーでのみ販売となります。※S席のみ販売

The Symphony Hall Produce Program Artist-in-Residence

フュージョン界のスーパー・サクソフォン奏者と、ビッグ・バンドのスリリングな関係。
The Symphony Hall Big Band ~Music Director 菊池 寿人~ Vol.12

先行予約 5/24(木)
一般発売 5/27(日)

ザ・シンフォニーホールのステージにこの人が初登場を果たす。それだけでもちよつとした事件かもしれませんよ!

「声をかけていただいて光栄です」と柔らかな笑顔を浮かべる彼は、日本のフュージョン界のトップ・スター。1991年から7年間在籍した「TSQUARE」(通称「スクエア」)で、そのソロに魅了された人は数知れない。今回のコンサートでも披露される『MEGALITH』は、スクエア時代の本田雅人が世に旋風を巻き起こした、今でも彼の代名詞的存在に等しいオリジナル・ナンバーだ。

「僕が参加して最初のアルバムのために書いた曲です。こんなスクエアじゃない!と怒られるのを承知で笑)、自分の個性を出そうと意図しました。スクエアという8ビートの軽快な曲作りで、F1のオーブン曲としてヒットした『TRUTH』



のようなイメージですね。僕の場合はもつとファンク寄りで、どちらかというと「黒い感じの色合い」。

そんな本田はビッグ・バンドとの縁も深い。既に国立音楽大学在学中から、本邦バンド界の草分けにあたる「原信夫とシャープス&フラッツ」でリード・アルト奏者をつとめた経歴を持つているし、スクエアを退団後に結成した「B. B. Station」は昨年で活動20周年。そのレパートリーとなっている彼のオリジナル曲も今回のコンサートにプログラムを飾る予定だ。

「1997年にライヴハウスでビッグ・バンドをやるうということになって、十数曲も一気に書き下ろした中の1つが『Theme for B.B.S.』。往年のビッグ・バンドを思わせるサウンドでスウィング・ジャズ風になり、やがてそこにファンクな要素が混ざっていきます」

そして本田の吹き紡ぐメロディラインが美しく胸に迫る『FAIR AFFECTION』は、ゆつたりした16ビートのバラード。

「僕が取り組んでいるのは、いわゆる4ビート系のジャズとは別路線の音楽になります。B. B. Stationは編成こそビッグ・バンドですが、フュージョンのようエレクトリックなサウンドを本来なら志向するタイプの曲を、生の楽器でやっている点が大きな特色。今回のザ・シンフォニーホール・ビッグ・バンドとの共演でも、そのアレンジを用意して臨みます」

ザ・シンフォニーホール・ビッグ・バンドにとつても、スリリングな出会いが期待できる一夜となりそう。今までにない音楽的な相乗効果を生むような...

「それを僕も期待したいですね!」

(取材・文 木幡一誠)



ファン必見!! お得な3公演通しチケット発売中!! S席のみ 12,960円(税込) ぜひこの機会にお買い求めください。

Vol.11 2018. 7/24(火) 7:00PM	Vol.12 2018. 10/30(火) 7:00PM	Vol.13 2019. 1/22(火) 7:00PM
スペシャルゲスト 古澤 巖 ヴァイオリン ロベルト・ディ・マリーノ: Olas★ / Margarita★ リチャード・ロジャース: My Funny Valentine★ ピー・ウィー・キング: テネシーワルツ ジョン・バリール: 映画007よりジェームズ・ボンド・メドレー ほか ★古澤巖 最新アルバム「スウィング・フーガ」より 〈7/24公演のみご購入〉 S 5,400円 A 4,320円 B 3,240円 (税込) 発売中	スペシャルゲスト 本田 雅人 サクソ 本田雅人: THEME FOR B.B.S. FAIR AFFECTION MEGALITH ほか 〈10/30公演のみご購入〉 S 5,400円 A 4,320円 B 3,240円 (税込) 5/24(木)先行 5/27(日)一般	スペシャルゲスト 加藤 ヒロユキ テノール ※曲目は追ってシンフォニアでお知らせいたします。 今年1月に登場した加藤ヒロユキが、2019年の1月にもスペシャルゲストとして登場することが決定! 3度目の共演となるステージ! 息のぴったり合ったオリジナルティ溢れるステージをご期待ください。 〈2019. 1/22公演のみご購入〉 S 5,400円 A 4,320円 B 3,240円 (税込) 9/20(木)先行 9/23(日)一般

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 [お問合せ] 大阪アートエージェンシー 072-648-3852 [主催] ザ・シンフォニーホール

バンドネオン

三浦一馬

Kazuma Miura

Interview

天才バンドネオン奏者、三浦一馬が、
オーケストラと共にピアソラの名曲、
映画音楽を奏でる

LIGHT SYMPHONIC CONCERT

ライト・シンフォニック コンサート ～情熱の夏～

[指揮] 松村秀明 [バンドネオン] 三浦一馬
[オーケストラ] 大阪交響楽団 [ナビゲーター] 羽川英樹

発売中

大阪交響楽団

ピアソラ:リベルタンゴ/アディオス・ソニーノ/ブエノスアイレスの夏/マン
シーニメドレー:映画『刑事コロンボ』より『ミステリー・ムービー・テマー』～映
画『シャレード』～映画『ハタリ』より『小象の行進』～映画『ピンクの豹』より『ピ
ンク・パンサー』のテーマ～ドラマ『ピーター・ガン』～映画『ティファニーで朝食
を』より『ムーン・リバー』/ニーノ・ロータ:太陽がいっぱい ほか

2018.7/28(土) 2:00PM

S 5,400円 A 4,320円(税込)

[ご予約・お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール/一般社団法人大阪交響楽団



「バンドネオンで今まで足を踏み入
れたことのないフィールドを開拓した
いと、2011年頃から映画音楽の演
奏に取り組んで来ました。どれだけ時
が経っても燦然と輝く美しい名曲を、
ファンタジーあふれるオーケストラの
響きと共に奏でたいと思います」
真夏の午後に繰り広げられる情熱的
なプログラム。洗練された大人の空間
が、ホールに広がることだろう。
「ピアソラから映画音楽まで、バンド
ネオンの多彩な魅力を楽しめるプログ
ラム。実は僕自身が一番ドキドキ、ワ
クワクワしているかもしれません」

(取材・文 森岡葉)

ザ・シンフォニーホールと大阪交響
楽団が贈る「ライト・シンフォニック
コンサート」、今夏に登場するのは、三
浦一馬。バンドネオンに魅せられ、ひ
たむきに学んだ日々について語った前
号に続き、今回は「情熱の夏」と題した
プログラムについて語ってもらった。
「僕はオーケストラのサウンドとバ
ンドネオンの融合に、音楽の未来を感
じるんです。そこを突き詰めたいとい
う想いから、昨年自身の室内楽オーケ
ストラ、東京クランド・ソロイストを
立ち上げました。僕の原点でもあるピ
アソラの作品を、オリジナルをリスベ
クトしつつ新鮮な感覚で再構築してみ
たいと考え、オーケストラの楽譜も自
分で書いています。今回は、その楽譜を
生かしてさらにワイドになった響きで
僕なりのピアソラ像を描き出すことが
できそうで、とても楽しみです」
ピアソラの作品と組み合わせたの
は、感動的な映画音楽の数々。
「バンドネオンで今までは足を踏み入
れたことのないフィールドを開拓した
いと、2011年頃から映画音楽の演
奏に取り組んで来ました。どれだけ時
が経っても燦然と輝く美しい名曲を、
ファンタジーあふれるオーケストラの
響きと共に奏でたいと思います」

ザ・シンフォニーホールのステージで
繰り広げられる、白熱のインタープレイ

細川千尋 ジャズ CLASSIC × JAZZ

Chihiro
Hosokawa

発売中

[ピアノ] 細川千尋 [ベース] 鳥越啓介 [ドラム] 石川智

J.S.バッハ: アヴェ・マリア/ガーシュウィン: サマータイム/ラヴェル: 亡き王女のためのパヴァーヌ/細川千尋: バガニーニの主題による「ジャズ」変奏曲/ケンプフェルト: L-O-V-E/バーカー: マイ・リトル・スエード・シューズ/細川千尋: Pasion (ほか)

2018.9/28(金) 7:00PM 全席指定 4,000円(税込)
スペシャルシート 5,500円(100席限定/4,500円+スパークリングワイン1杯付き)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] テレビマンユニオン 03-6418-8617 [主催] テレビマンユニオン/ザ・シンフォニーホール

©Ai Ueda

2013年、モントルー・ジャズフェスティバル・ピアノ・ソロコンペティションにおいて日本女性初のファイナリストとなったジャズピアニスト、細川千尋が、高い演奏力を持つふたりのプレイヤー、鳥越啓介(ベース)、石川智(ドラム)を迎えたトリオでザ・シンフォニーホールに登場する。

2017年2月、「ライト・シンフォニックコンサート〜大人の贅沢〜」でザ・シンフォニーホールに初登場以来、大阪交響楽団との2度に渡る共演で圧倒的な存在感を放った細川が、今回は本領のジャズに軸足を置きつつ、スリリングなクラシックとのクロスオーバーを展開する。

演奏されるのはJ.S. バッハの『アヴェ・マリア』から、ガーシュウィンの『サマータイム』、ナット・キング・コールの名唱で知られるケンプフェルトの『L-O-V-E』、そして細川自身の『バガニーニの主題による「ジャズ」変奏曲』など。ジャンルを越えた名曲の数々が、細川の鮮やかなインプロヴィゼーションと、ベース、ドラムの対話によって熱を帯びていく様はトリオならではの味わいだ。これまでソロを中心とした活動が多かった細川にとってもトリオでの可能性は大きいという。

昨年11月にリリースした初のミニアルバム『CHIRO』もこのフォーマットで録音されたもの。その手応えを引っさげての今回の公演となる。ザ・シンフォニーホールのステージで繰り広げられる白熱のインタープレイに注目してほしい。

(文 逢坂聖也/音楽ライター)

続く第227回は、チェロにアジアが生んだ巨星ジャン・ワン、指揮に日本初登場となるクリストフ・ケーニツヒを迎える第227回定期演奏会

「葬送の音楽というのはつまり折りでしょうね。自分の一番尊敬する人、大好きな人が亡くなった時、その魂がよりよい形で天国に迎えられるように」という。飯森範親はそのように続ける。

先ほどの、このプログラムから感じられるもの、つて何でしょう？と飯森範親に尋ねてみた。飯森範親はしばらく考えて「お盆みたいな気持ちになれることかな。そんな演奏会にしたいですね。少し早いけど」と笑った。「大切な人への祈りって、日本に住む人ならお盆に通じる感覚だと考えればわかりやすいと思うんです。あの世を思う時間とつかひ今は亡き、自分にとって大切な人が今も幸せであってほしいと願うような感覚ですね。ただ、お客さまに何を感じていただくかは、まったくの自由。特に7番は人気の高い作品ですから、それぞれにイメージをお持ちのことと思います。センチュリーが演奏するワーグナーやブルックナーを、とにかく新鮮な気持ちで受け止めていただけたらうれしいですね」



ワーグナー・テューバの響きを伴って奏でられる。



アジアが生んだ巨星、チェロのジャン・ワン

「取材・文 逢坂聖也」

に見出されたジャン・ワンはアメリカに学び、1995年にクラウディオ・アバド指揮のマーラー・ユース・オーケストラ、そしてマキシム・ヴェンゲロフとともにブラームスの『ヴァイオリンとチェロのための協奏曲』を演奏してデビューを飾った。以来、ソリストとして、室内楽奏者として国際的な評価を収めている。また現在ソロイスト・ヨーロッパ・ルクセンブルクの音楽監督を務めるクリストフ・ケーニツヒは、古典からオペラ、現代曲までの幅広い作品をレパートリーとし、アメリカ、イギリスの著名なオーケストラから高い信頼を勝ち得ている。

曲はショスタコーヴィチのチェロ協奏曲第1番とシューマンの交響曲第3番『ライン』。開幕にはチャイコフスキーの幻想序曲『ロメオとジュリエット』を置く。シエイクスピアのドラマを凝縮したかのような音楽に始まり、社会主義ソビエト時代の緊張感みなぎるチェロ協奏曲の傑作とシューマンがその繊細な心に安らぎのひと時を見出したライン川ほとりの情景が、当代の名手たちとセンチュリーの演奏によって鮮烈に描き出されてゆく。世界の最前線とリンクした、センチュリーの存在感が楽しめる演奏会になりそうだ。



日本初登場となる指揮者、クリストフ・ケーニツヒ

2018年夏 ブルックナー・シリーズ本格始動 そして、世界の最前線と繋がるセンチュリー



センチュリーのブルックナー第7番 第226回定期演奏会を飯森範親が語る

第222回定期演奏会で交響曲第4番『ロマンティック』を演奏し、センチュリーのブルックナーを鮮やかに印象付けた飯森範親と日本センチュリー交響楽団。そのシリーズ第2回が6月、第226回定期演奏会で早くも実現する。ブルックナーの交響曲第7番とともに採り上げるのはワーグナーの舞台神聖祝典劇『パルジファル』より『聖金曜日の音楽』。19世紀後半、円熟期のロマン派音楽の一面を切り取ったかのようなプログラムだ。その魅力を首席指揮者、飯森範親に訊いた。

「ブルックナーという作曲家はワーグナーの熱狂的なファンでした。今回演奏する2曲は年代的にも近い作品で『聖金曜日の音楽』はワーグナーの最後の舞台劇からの作品ですし、ブルックナーの7番はそのワーグナーの危篤の知らせを聞きながら書かれた作品なんです」

リヒャルト・ワーグナー（1813-83）は『トリスタンとイゾルデ』『ニーベルングの指輪』ほかの作品を生み出し、総合芸術としての舞台作品『楽劇』の創始者としてドイツの芸術史に大きな足跡を残す作曲家である。一方のアントン・ブルックナー（1824-96）は優れたオルガニストであり交響曲のほか宗教曲などに数多くの傑作を残した。ワーグナーの



『パルジファル』初演は1882年、ブルックナーの交響曲第7番の初演は1884年である。

「『パルジファル』という物語の中心にはキリストの「復活」という教えがあった。キリスト教圏以外の国に住む私たちには難解な世界なんです。その3幕に出てくる『聖金曜日の音楽』は非常に透き通った美しさを持つ、親しみやすい作品だと思えます。ワーグナーの晩年の思いみいたなものが込められているとも言えるし、この曲をブルックナーの7番と併せて演奏することによって感じていただけるものもあるのではないかな、と思います」

交響曲第7番はブルックナーの作品の中でも特に高い人気を誇る作品だ。その理由について飯森範親は次のように語る。

「交響曲としての完成度が高いということ。この作品はブルックナーにとって、初めての自作だったと言われています。ブルックナーという人は、人から指摘されたり、自分で至らないと思ったりすると作品を改訂してしまうことで知られていますが、7番は大きな改訂を行わなかった作品です。初演も大成功でした。彼は作曲家としてはとても大器晩成の人で、この時もう60歳になっていました。初めて自分の音楽を書いたという思いがあったんじゃないでしょうか」

そしてこの作品の魅力さをさらに際立たせているのが、第2楽章に置かれた美しいアダージョである。その後半にはワーグナーの訃報に接して書き加えられた葬送の音楽が、4本の



2018年1月19日・20日第222回定期演奏会ではブルックナーの交響曲第4番「ロマンティック」が好評を博す。

第226回 定期演奏会

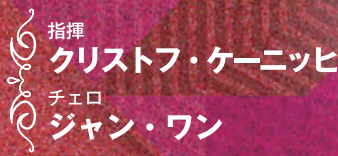
ワーグナー：舞台神聖祝典劇
「パルジファル」より「聖金曜日の音楽」
ブルックナー：交響曲 第7番 ホルン調 WAB107（ハース版）



2018 6.14 (木) 19:00開演 (18:00開場)

第227回 定期演奏会

チャイコフスキー：幻想的序曲「ロメオとジュリエット」
ショスタコーヴィチ：チェロ協奏曲 第1番 変ホ長調 作品107
シューマン：交響曲 第3番 変ホ長調 作品97「ライン」



2018 7.5 (木) 19:00開演 (18:00開場)



Century Web Magazine
センチュリー ウェブ マガジン

センチュリー・ウェブマガジン
大好評配信中！

注目の公演や楽団員の
素顔がわかるコラムなど、
オーケストラを楽しむヒントが満載！



定期会員新規募集中！ お問合せはセンチュリーチケットサービスへ！

会場：ザ・シンフォニーホール

A席 6,000円 / B席 4,500円
C席 3,500円 / D席 1,500円

2018-19シーズン
プログラムはこちら！

チケットのお求めはこちら

●センチュリー・チケットサービス
●センチュリー・ネットチケット

TEL.06-6868-0591 (平日10:00~18:00)
http://www.century-orchestra.jp/ticket/

●ザ・シンフォニー チケットセンター
TEL.06-6453-2333 (10:00~18:00 火曜定休)



主催・お問合せ：公益財団法人日本センチュリー交響楽団 TEL.06-6868-3030 http://www.century-orchestra.jp/

日本センチュリー 検索

オフィシャル
スポンサー

MK MKグループ / ONKYO / kaneka / 共栄法律事務所 / KINCHO / 新コスモス電機株式会社 / Takashimaya / 高松コンストラクショングループ / TOA 株式会社 / TOYO TIRES / 日本ペイントホールディングス / Hankyu

音楽を愛する団体が集い、夢を発信する「ザ・シンフォニーホール」。

毎年華を添えてくれる2団体が今年もザ・シンフォニーホールに登場します! オペラやバレエ音楽、音楽落語などの幅広い活動により、更なる深みを増したクラシック音楽をお届けしてくれる「大阪市民管弦楽団」。長い歴史を経て受け継がれてきたアンサンブルで神秘的なハーモニーを響かせてくれる「大阪府医師会フィルハーモニー」。注目の公演に向けてメッセージをお届けします!

MESSAGE

大阪府医師会フィルハーモニー

「大阪府医師会フィルハーモニー」は、1970年に大阪府医師会員のクラシック音楽を愛するメンバーにより設立されました。現在では、医療関係者、医学生をはじめそれ以外のメンバーも参加しているオーケストラです。活動は、病院や本拠地としている城東区民センターでの「コンサート」と年1回の「ザ・シンフォニーホール」での定期演奏会とを二本柱としています。定期演奏会には、視覚障害を持つ障害者や介護老人施設に通所しておられる方々を御招待し、また、大阪市鶴見区にあります「TSURUMI こどもホスピス」の入所者のご招待と同施設への募金活動も行なっております。



大阪府医師会フィルハーモニー 第48回定期演奏会

【指揮】高谷光信

【管弦楽】大阪府医師会フィルハーモニー

シューベルト：交響曲 第7番 短調「未完成」

リムスキーコルサコフ：交響組曲「シェエラザード」

2018. 7/1 (日) 2:00PM 全席自由 1,500円

【ご予約】チケットぴあ (Pコード: 107-625)

【お問合せ】岩佐クリニック 06-6213-2841

今回のコンサートは、ドイツ作曲家の構築がはつきりした音楽とロシア作曲家の滔々と流れる音楽の対比をプログラムといたしました。特に「シェエラザード」では、団内コンサートマスターのソロとオーケストラの親密なアンサンブルをお楽しみいただけるものと存じます。ご期待ください。

今回のコンサートは、ドイツ作曲家の構築がはつきりした音楽とロシア作曲家の滔々と流れる音楽の対比をプログラムといたしました。特に「シェエラザード」では、団内コンサートマスターのソロとオーケストラの親密なアンサンブルをお楽しみいただけるものと存じます。ご期待ください。

MESSAGE

大阪市民管弦楽団

7/9 (月)
発売

当団は1970年、数人のクラシック音楽を愛する市民が「私たちの手でオーケストラを」を合言葉に活動を開始。本番直前にメンバーが揃うのではなく、「日常の練習が活動の中心」をモットーに活動を続けています。主な活動内容は、年2回の定期演奏会、合唱団との年末の第九演奏会となっています。

ザ・シンフォニーホール

の良さや、高級感。さらにコンサートの質を保つための運営上のノウハウも大きな魅力です。当団では、ここで演奏できることがモチベーションの維持につながり、入団の動機にもなっています。今回の公演では当団と縁の深い金洪才先生の指揮で、ブラームス「交響曲第四番」をメインに演奏。ドイツ後期ロマン派とフランス新古典主義の粋なカップリングにご期待ください。



大阪市民管弦楽団 第88回定期演奏会

【指揮】金 洪才

【管弦楽】大阪市民管弦楽団

ワーグナー：トリスタンとイゾルデ「前奏曲と愛の死」

ブラームス：バレエ組曲「牝鹿」

ブラームス：交響曲 第4番 小短調 op.98

2018. 9/9 (日) 2:00PM S 2,000円 A 1,500円

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【お問合せ】大阪市民管弦楽団 090-9050-6199

♪2018年 注目の開催予定公演♪

龍谷大学吹奏楽部
第10回龍谷大学吹奏楽フェスティバル大阪

2018. 6/10 (日)

大阪府医師会フィルハーモニー
第48回定期演奏会

2018. 7/1 (日)

東京大学音楽部管弦楽団
サマーコンサート2018 関西公演

2018. 8/5 (日)

パナソニック合唱団
第43回定期演奏会

2018. 9/1 (土)

大阪市民管弦楽団
第88回定期演奏会

2018. 9/9 (日)

同志社グリークラブOBシンガーズ
第4回 演奏会

2018. 9/16 (日)

関西シティフィルハーモニー交響楽団
第65回定期演奏会

2018. 9/30 (日)

大阪府立夕陽丘高等学校音楽科
第22回 定期演奏会

2018. 10/13 (土)

同志社交響楽団
第90回 定期演奏会

2018. 10/21 (日)

芦屋交響楽団
第90回定期演奏会

2018. 11/4 (日)

※公演により、ザ・シンフォニー チケットセンターでのチケットの取り扱いのないものがございます。



Hall Topics

ホールトピックス

Concert Report

大阪フィルの70周年と ザ・シンフォニーホール35周年を 鮮やかに締めくくった特別なコンサート

大阪フィル70周年 × ザ・シンフォニーホール35周年 特別コンサート
大植英次 指揮／大阪フィルハーモニー交響楽団
「英雄」×「アルプス交響曲」

大きな筆で一息に書き下ろしたような『英雄』だった。大植英次は無駄のない筋肉質な響きで一気呵成に全4楽章を駆け抜けた。後半、深い呼吸とともに始まった『アルプス交響曲』では、舞台裏のバンダまですべての楽器が深い表情を込めて鳴らされてゆく。登山者の目に映る情景は余さず音となって観客に届けられた。演奏が終わってしばらくは深い静寂。10秒、20秒、大植英次がゆっくりと振り向くの待って拍手は起こった。オーケストラと観客が感動を分かち合った素晴らしい時間だった。大植は何度もステージに呼び戻され、そのたびに波立つような拍手に迎えられる。ひざまずいてステージにキスするサービスなどもユーモアたっぷりに行えてしまうのが、この人の指揮者としての華だろう。楽団員の表情にも全力を尽くした充実感が溢れていた。今夜のような演奏はザ・シンフォニーホールでこそ聴きたい、そう思わせられるほどにオーケストラの熱気が間近に感じられたコンサートだった。

(文 逢坂聖也／音楽ライター)



大植英次



大阪フィルハーモニー交響楽団

The Symphony Time

ザ・シンフォニー タイム

クラシックを聴きながら、作曲家や楽曲に隠された物語や豆知識などをお届けしていく1時間!



YES-fm 毎週土曜日
あさ10時~11時 **ON AIR**

ザ・シンフォニーホール音楽総監督・ゼネラルマネージャーの喜多弘悦が、クラシック音楽をより多くの方に聴いて頂けるよう、わかりやすく楽しい軽快なトークとともに、クラシックの名曲をご紹介します!



受信可能範囲
(可聴エリア)

📶 大阪市 全24区

📶 大阪市以外

東大阪市(一部)、堺市(一部)、
八尾市(一部)、尼崎市(一部)、
吹田市(一部)、豊中市(一部)、
など

インターネットでも
聴けるよ!



インターネット
(リスンラジオ/サイマルラジオ)で
全国に発信!



リスンラジオ/サイマルラジオにて番組を配信。
インターネット(PC・スマートフォン)でお聴きいただけ
ます。またCS放送、USENでもリアルタイムに配信。
※ご契約内容によって聴取いただけないエリアがございます。



The Symphony Café

ザ・シンフォニーカフェ

売切れ必至!

みんな大好き
サンドイッチメニュー
各500円(税込)



お得なドリンクセット
(好きなソフトドリンク付)

お得

700円(税込)

臨時システムメンテナンスに伴う チケットWEB販売 一時休止のお知らせ

システムメンテナンスの実施に伴い、下記期間はWEBでのチケット販売を
休止させていただきます。
お客様へはご不便、ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご容赦くださいます
ようお願い申し上げます。

※尚、お電話・窓口・館内プレイガイドは通常通り営業をしております。

休止日時

2018年5月21日(月)0:00~5月23日(水)10:00迄
※5月23日(水)10:00からは通常通り販売を行います。



ABCアナウンサー
堀江政生の

シンフォニア・アワー

クラシックの意外な裏話や、ザ・シンフォニーホールにまつわる話など、
ここだけのとおきエピソードをご紹介します。

Sinfonia
Hour



vol.27 和太鼓松村組・そのエネルギーの源

1995年阪神淡路大震災で被災された方々への激励と、神戸の復興エネルギーを全国に向けて発信することを目的に神戸で発足。(和太鼓松村組のホームページから)

番組に「和太鼓松村組」リーダー・松村公彦さんに来ていただき、その発足の経緯を伺いましたので、今回はその話を…。

松村さんは小さい頃マリンバに目覚め、打楽器奏者として大阪交響楽団の前身に入団。その後、神戸市立の高校に音楽の先生として採用されます。

松村さんは、和太鼓奏者として活動している大学の同期生に大変刺激を受けていたそうです。そこで松村先生、高校に「和太鼓部」を作ってしまった。しかし、部員は集まりません。そこで、力の余っている帰宅部の生徒を無理やり勧誘。(見た目に強面で、近寄りがたい雰囲気松村先生の誘いを断るのは相当勇気が要りそうです。)なにせ和太鼓は体力勝負。筋トレや、長距離走、鉄パイプを握っての練習で、生徒たちはヘロヘロ。手のひらズルムケ。「えらいところに連れ込まれた!」と先生の目を盗んで帰ろうとする部員をバスの中まで追いかけて、引きずり降ろす熱血教師!(松村さん、すみません。ちょっと話を盛りました!!)

冠まわしい阪神淡路大震災は、そんな時に起きました。

「太鼓なんか、やかましいわい! 出てけ!」そんな罵詈雑言も覚悟をした上で、避難所での演奏を敢行した「和太鼓部」。けれども、批判の声は杞憂でした。高校生たちの熱演は、被災し傷ついた人たちの心を慰め、癒やし、力づけたのです。

そして、「自分たちの太鼓で喜んでくださる方がいるんだ…」高校生たちの胸に、あのまま帰宅部生だったら決して感じることはなかった熱いものが込み上げてきました。

高校の部活動から復興の狼煙を上げた和太鼓松村組。「復興エネルギーを全国に。」そのエネルギーの源は、実は、被災された方々から貰ったものだったんですね。

公演の聴きどころ、豪華ゲストを招いてのお話など、名曲とともにご紹介!



堀江政生のザ・シンフォニーホール・アワー

ABCアナウンサー堀江政生が、豊富なクラシックの知識を余すところなく語る30分。

ABC Radio
AM1003/FM93.3

毎週日曜日
あさ7時5分~7時35分

なにができるんだろう?



夢と希望にあふれた
社会づくりを実現させるために、
わたしたち大成建設は
これから人がいきいきとする環境を
創造します。

地図に残る仕事。
大成建設
For a Lively World



SOMPO
ホールディングス

保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜

保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜はSOMPOホールディングスの一員です。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

大阪北支店 梅田支社
〒541-8545 大阪府大阪市中央区瓦町 4-1-2
Tel:06-6227-0490 <http://www.sjnk.co.jp/>

Concert Calendar

5月

T マークの公演は、ザ・シンフォニー チケットセンターでチケットをご予約いただけます。

開催日	曜日 開演	催 物 名	出 演 者	曲 目	料 金 (円)	お 問 合 せ 先
18	金 19:00	第1回定期公演 シンフォニア・アルシスOSAKA	指揮/守山 俊吾 管/シンフォニア・アルシスOSAKA P/田代 彩、糟野 優香 S/鹿島 満美 Sax/寺田 麗美 P/高 果奈	ブラームス：交響曲 第1番 ハ短調 op.68 チャイコフスキー：バレエ音楽「白鳥の湖」より ガーシュウィン：ラプソディ・イン・ブルー ハイドン：ピアノ協奏曲 二長調 ほか	全席自由 4,000	マック・アート・プロジェクト 06-6367-1773 ミュージック・アート・ステーション 06-6836-7067
19	土 13:30 17:00	大阪交響楽団 第101回名曲コンサート オーストリア・モーツァルトの系譜	指揮・P/高橋 直史 管/大阪交響楽団	モーツァルト：ピアノ協奏曲 第9番 変ホ長調 K.271「ジュノム」 セレナード 第6番 二長調 K.239「セレナター・ノットゥルナ」 交響曲 第36番 ハ長調 K.425「リンツ」	S 3,500 A 3,000 B 1,500	大阪交響楽団 072-226-5522
20	日 14:00	関西フィルハーモニー管弦楽団 第292回定期演奏会	指揮/オーギュスタン・デュメイ Vc/岡本 侑也	ブラームス：大学祝典序曲 op.80 ショスタコーヴィチ：チェロ協奏曲 第1番 op.107 ブラームス：交響曲 第2番 二長調 op.73	S 6,000 A 4,500 B 3,000 C 2,000 学生席(25歳以下) 1,000	関西フィルハーモニー 管弦楽団 06-6577-1381
24	木 19:00	〈名曲シリーズ〉 大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ソフレ・シンフォニー Vol.11	指揮/角田 鋼亮 Vn/川久保 賜紀 管/大阪フィルハーモニー交響楽団	ベートーヴェン：劇音楽「シジファン王」序曲 チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35 ドヴォルザーク：交響曲 第9番 ホ短調 op.95「新世界より」	A 5,000 B 3,000	大阪フィル・ チケットセンター 06-6656-4890
26	土 14:00	ウィーン少年合唱団	合唱/ウィーン少年合唱団 指揮・P/ジミー・チャン	バッハ＝グノー：アヴェ・マリア(グノー生誕200年記念) 岡野 貞一：ふるさと ホーキングス：オー・ハッピー・デイ J.シュトラウスⅡ：千夜一夜物語、美しく青きドナウ ヨーゼフ・シュトラウス：水兵のボルカ ウエルナー：野ばら ほか	A 6,500 B 5,000 C 売切	ABCチケット インフォメーション 06-6453-6000
27	日 14:00	ウィーン少年合唱団	合唱/ウィーン少年合唱団 指揮・P/ジミー・チャン	シューベルト：まず、夜うぐいす J.シュトラウスⅡ：山賊のギャロップ 久石 譲：となりのトトロ ロブレス：コンドルは飛んでいく 童謡：ほたるこい ロッシーニ：猫の二重唱 コーブランド：町から猫を連れてきた J.シュトラウスⅡ：ウィーンの森の物語、トリッチ・トラッチ・ボルカ ほか	A 6,500 B 5,000 C 売切	ABCチケット インフォメーション 06-6453-6000
30	水 19:00	ルドヴィコ・エイナウディ 2018大阪公演	P/ルドヴィコ・エイナウディ ほか	今までのアルバムの中から有名ヒット曲を始め、 選りすぐりのプログラム	SS 9,800 S 8,800	MUGENクリエイションズ 06-6133-5637
31	木 19:00	日本センチュリー交響楽団 第225回定期演奏会	指揮/ジョセフ・ウォルフ Vn/クロエ・ハンスリップ 管/日本センチュリー交響楽団	ベートーヴェン：「コリオラン」序曲 ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.61 交響曲 第4番 変ロ長調 op.60	A 6,000 B 4,500 C 3,500 D 1,500	センチュリー・ チケットサービス 06-6868-0591

チケットご購入方法



お電話で購入

ザ・シンフォニー チケットセンター (10:00～18:00 火曜定休)
※年末年始並びに夏季休業
☎06-6453-2333



窓口で購入

ザ・シンフォニー チケットセンター (10:00～18:00 火曜定休)
※年末年始並びに夏季休業
シンフォニア会員先行予約期間の窓口での取り扱いはございません。



インターネットで購入

ザ・シンフォニーホール ホームページ
<http://www.symphonycall.jp/>

- ・公演スケジュールページの「TICKETマーク」が付いている公演を選択。
- ・「チケット購入」ボタンをクリックし、チケット購入サイトへ。
- ・先行予約・一般発売は発売日の午前10時からご利用いただけます。



※お取り扱い公演に関しましては、27～29ページの公演カレンダーをご確認ください。
※支払い方法、手数料等については、ザ・シンフォニー チケットセンターへお問合せいただくか、またはザ・シンフォニーホール ホームページをご覧ください。

野村に株式を
預けると、
いいことがあるみたい。

≡ それ、
野村にきいてみよう。

眠ったままで働きます

- 例えば、
- ・「野村の株式得と登録」とか
 - ・「野村Webプラスローン」とか



売らなくても
株式を有効活用
できるって！

野村証券 なんば支店
☎ 06-6632-5081

6月

T マークの公演は、ザ・シンフォニー チケットセンターでチケットをご予約いただけます。

開催日	曜 日 開演	催 物 名	出 演 者	曲 目	料 金 (円)	お 問 合 せ 先
1	金 19:00	大阪交響楽団 第218回定期演奏会	指揮/カーチュン・ウォン 管/大阪交響楽団	ストラヴィンスキー：バレエ組曲「プルチネルラ」 ラフマニノフ：交響曲 第2番 短調 op.27	S 6,000 A 5,000 B 3,500 C 2,500 D 1,000 オルガ度 2,000 青少年学生券1回 1,000 青少年学生券5回 4,000	大阪交響楽団 072-226-5522
2	土 19:30	[公演中止] イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団 ズービン・メータ指揮	指揮/ズービン・メータ 管/イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団	公演中止		ABCチケット インフォメーション 06-6453-6000
3	日 14:00	オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ 第120回定期演奏会～スパーク、再び。～	指揮・作曲/フィリップ・スパーク 演奏/Osaka Shion Wind Orchestra	〈オール・スパーク・プログラム〉 スラヴォニカ(日本初演)/ドラゴンの年(2017年版) 交響曲 第2番「サヴァンナ・シンフォニー」 ほか	S 5,000 A 4,000 B 3,000	Shionチケットセンター 0800-919-5508
9	土 14:00	前橋汀子 ヴァイオリン名曲選	Vn/前橋 汀子 P/ヴァン・マルディシアン	J.S.バッハ：G線上のアリア フランク：ヴァイオリン・ソナタ クライスラー：ウィーン奇想曲、愛の喜び サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ ほか	全席指定 3,500	ABCチケット インフォメーション 06-6453-6000
10	日 16:30	第10回 龍谷大学吹奏楽フェスタ in 大阪	指揮/児玉 知郎 吹奏楽/市岡高等学校、春日丘高等学校 ブール学院高等学校、龍谷大学	第一部 出演校による単独ステージ 第二部 出演校全員による合同ステージ	無料(要申込)	龍谷大学学生部 077-543-7734
14	木 19:00	日本センチュリー交響楽団 第226回定期演奏会	指揮/飯森 範親 管/日本センチュリー交響楽団	ワーグナー：舞台神聖祝典劇「パルジファル」より「聖金曜日の音楽」 ブルックナー：交響曲 第7番 木長調 WAB107(ハース版)	A 6,000 B 4,500 C 3,500 D 1,500	センチュリー・ チケットサービス 06-6868-0591
16	土 14:00	マリオ・プルネロ チェロ・リサイタル ～名曲ソナタ、パッサリ無伴奏ソナタ、 そして小品名曲集～	Vc/マリオ・プルネロ P/江口 玲	ドビュッシー：チェロ・ソナタ フランク：チェロ・ソナタ J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第1番 サン＝サーンス：白鳥 ピアソラ：アダオス・ニノ、リベルタンゴ、グランタンゴ ほか	全席指定 5,000	ABCチケット インフォメーション 06-6453-6000
17	日 13:30	盲導犬育成支援のための 第36回日本ライトハウス チャリティコンサート	指揮/澤 和樹 Vn/川島 成道 管/千里フィルハーモニー・大阪 吹奏楽/大阪市立蓮中学校吹奏楽部	シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 二短調 op.47 交響曲 第2番 二長調 op.43 交響詩 フィンランディア op.26 ほか	当日座席指定 3,500	チャリティコンサート係 06-6968-1030
20	水 14:00	〈名曲シリーズ〉 平日午後の名曲セレクション マチネ・シンフォニー Vol.19	指揮/井上 道義 Vn/成田 達輝 管/大阪フィルハーモニー交響楽団	バーンスタイン：シンフォニック・ダンス ワグスマン：カルメン幻想曲 マルケス：ダンソン 第2番 ほか	A 4,000 B 3,000	大阪フィル・ チケットセンター 06-6656-4890
21	木 19:00	関西フィルハーモニー管弦楽団 第293回定期演奏会	指揮/藤岡 幸夫 CL/リチャード・ストルツマン Mb/ミカ・ストルツマン 合唱/大阪府立夕陽高等学校音楽科	大島 ミチル：混声合唱とオーケストラのための組曲(世界初演) クラリネットとマリナーのための二重協奏曲(世界初演) ～藤岡幸夫のシベリウスツィクルス第7回(最終回)～ シベリウス：交響曲 第1番 短調 op.39	S 6,000 A 4,500 B 3,000 C 2,000 学生席(25歳以下) 1,000	関西フィルハーモニー 管弦楽団 06-6577-1381
24	日 14:30	大阪シンフォニック クワイア演奏会 佐藤 眞：混声合唱とオーケストラの ためのカンタータ「土の歌」	指揮/湯浅 卓雄 管/大阪フィルハーモニー交響楽団 T/宮里 直樹 合唱/大阪シンフォニック クワイア	シューベルト：交響曲 第7番 短調 D.759[未完成] ディーリアス：交響詩「夏の歌」 佐藤 眞：混声合唱とオーケストラのためのカンタータ「土の歌」(大木 博夫作詞) ほか	S 5,000 A 4,000 (座席指定) B 3,000(当日座席指定/ 当日13:00より引換開始)	大阪シンフォニッククワイア: 岡副(オカゾエ) 090-9110-2591 御地(ミイケ) 072-854-1486
26	火 19:00	エリック・ハイドシェック with ザ・シンフォニー・ホール チェンバーアンサンブル	P/エリック・ハイドシェック 指揮/田部 剛 弦楽合奏/ザ・シンフォニー・ホール チェンバーアンサンブル	オール・モーツァルト・プログラム ピアノ協奏曲 第14番 変ホ長調 K.449より、ピアノ協奏曲 第16番 二長調 K.451より ピアノ協奏曲 第12番 イ長調 K.414より、ピアノ協奏曲 第21番 八短調 K.467より ほか	S 5,000 A 4,000	コンサートイマジジ 03-3235-3777
29	金 19:00	大阪交響楽団 第219回定期演奏会	指揮/エルンスト・タイス P/小川 典子 管/大阪交響楽団	シェーンベルク：浄められた夜 op.4 R.シュトラウス：ピアノと管弦楽のための「ブルレスケ」二短調 シューベルト：交響曲 第5番 変ロ長調 D485	S 6,000 A 5,000 B 3,500 C 2,500 D 1,000 オルガ度 2,000 青少年学生券1回 1,000 青少年学生券5回 4,000	大阪交響楽団 072-226-5522
30	土 14:00	プラハ放送交響楽団	指揮/オンドレイ・レナルト 管/プラハ放送交響楽団	スメタナ：連作交響詩「わが祖国」より「モルダウ」 ベートーヴェン：交響曲 第5番 短調「運命」 op.67 ドヴォルザーク：交響曲 第9番 短調「新世界より」 op.95	A 10,000 B 8,000 C 売切 D 売切	ABCチケット インフォメーション 06-6453-6000
30	土 19:00	ヴァディム・ホロデンコ ピアノ・リサイタル	P/ヴァディム・ホロデンコ	<オールショパンプログラム> 2つのノクターン(第7番 変ハ短調 op.27-1、第8番 変二長調 op.27-2) ピアノソナタ 第2番 変ロ短調 op.35 エチュード op.25 全曲	全席指定 4,000	ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

ベストシーズンに行く！
サンクトペテルブルク・モスクワ 6日間
旅行実施日 8月11日(土)～8月16日(木) (4泊6日)
旅行代金 578,000円 (2名1室利用) ※お一人部屋追加代金 70,000円
 ※ビジネスクラス追加 420,000円
 ※関西空港使用料 (3,040円) ※現地空港税 (約 6,000円) ※ロシア査証取得費用 (18,000円)
 ※燃油サーチャージ (24,000円) (2018年4月1日現在) が別途必要となります。




エルミタージュ美術館
聖ワシリイ寺院

資料請求・お問合せ 掲載のツアーはこの広告でのお申し込みを受け付けておりません。資料を当社下記店舗までご請求ください。

名鉄観光 梅田支店 06-6311-6621 ●観光庁長官登録旅行業第55号
 ●営業時間 9:00～18:00(土・日・祝・年末年始 休業) ●大阪市北区堂山町3-3日本生命梅田ビル

日次	都市名	現地時間	交通機関	行程	食事
8/11(土)	関西空港 仁川空港 カトパ 羽 助	10:25 12:25 14:15 17:55 21:30	KE724 KE929	関西空港集合 空路、大韓航空にて仁川空港へ。(所要時間 1時間 50分) 着後乗継、サンクトペテルブルクへ。(所要時間 9時間 35分) 到着後、ホテルへ。 サンクトペテルブルク：ケンピンスキーモイカ 2 2 [泊]	一機機
8/12(日)	カトパ 羽 助	終日	専用車	朝食後、エカテリーナ宮殿とエルミタージュ美術館終日観光 サンクトペテルブルク：ケンピンスキーモイカ 2 2 [泊]	〇〇〇
8/13(月)	カトパ 羽 助	午前 午後	専用車	朝食後、サンクトペテルブルク観光へ (聖イサキ寺院、宮殿広場、元元老院広場など) 昼食後自由行動 サンクトペテルブルク：ケンピンスキーモイカ 2 2 [泊]	〇〇〇
8/14(火)	カトパ 羽 助 モスクワ	午前 午後	専用車 国内線	朝食後、空路モスクワへ 到着後モスクワ市内観光 (ノヴォデヴィチ修道院、雀が丘など) モスクワ：ゴールデンリング [泊]	〇機〇
8/15(水)	モスクワ	終日	専用車	朝食後、ちょっと遅めの出発でクレムリン観光 (赤の広場、聖ワシリイ寺院など) 空路、仁川空港へ。(所要時間 8時間 45分)	〇〇機
8/16(木)	仁川空港 関西空港	09:40 15:20 17:05	KE725	仁川空港到着後、乗継ぎ帰国の途へ。(所要時間 11時間 45分) 関西空港到着後、解散	機一

※上記行程が現地の気象やその他の事情により変更される場合もございます。

募集人数：10名様 (最少催行人員4名様) 添乗員：同行いたします
 利用予定航空会社：大韓航空 利用予定ホテル：<サンクトペテルブルク>
 ケンピンスキーモイカ 2 2、<モスクワ>ゴールデンリング
 食事：朝食4回・昼食3回・夕食3回 (機内食を除く)
 ※旅券の残存が出国時6ヶ月 (2019年1月17日まで) 必要です。
 ※関西空港使用料 (3,040円) ※現地空港税 (約 6,000円)
 ※ロシア査証取得費用 (18,000円)
 ※燃油サーチャージ (24,000円) (2018年4月1日現在) が別途必要となります。

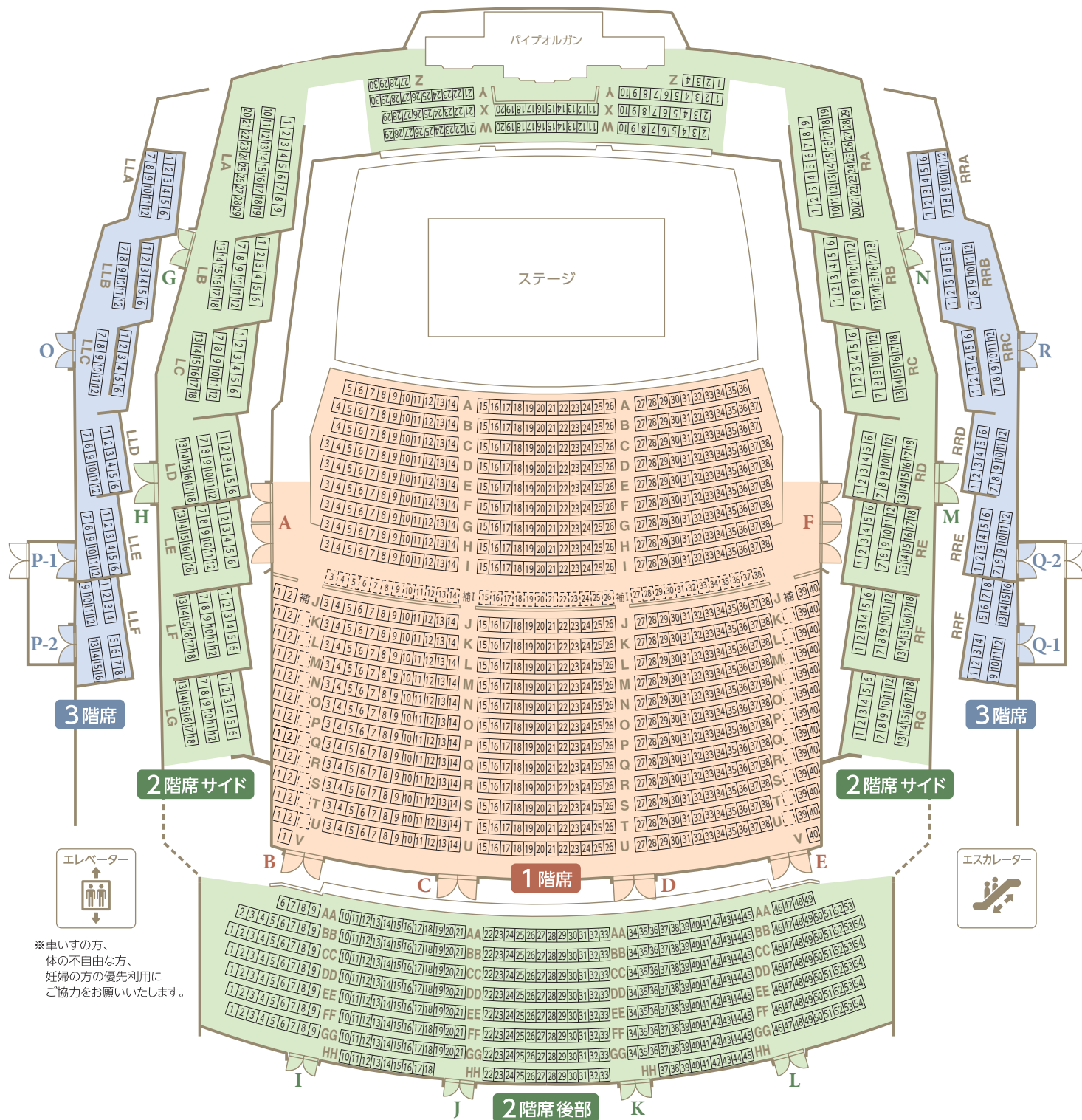
開催日	曜日 開演	催 物 名	出 演 者	曲 目	料 金 (円)	お問合せ先
1	日 14:00	大阪府医師会フィルハーモニー 第48回定期演奏会	指揮/高谷 光信 管/大阪府医師会フィルハーモニー	シューベルト：交響曲 第7番 口短調「未完成」 リムスキー=コルサコフ：交響組曲「シェエラザード」	全席自由 1,500	岩佐クニツク 06-6213-2841
5	木 19:00	日本センチュリー交響楽団 第227回定期演奏会	指揮/クリストフ・ケーニッヒ Vc/ジャン・ワン 管/日本センチュリー交響楽団	チャイコフスキー：幻想的序曲「ロメオとジュリエット」 ショスタコヴィチ：チェロ協奏曲 第1番 変ホ長調 op.107 シューマン：交響曲 第3番 変ホ長調 op.97「ライン」	A 6,000 B 4,500 C 3,500 D 1,500	センチュリー・ チケットサービス 06-6868-0591
7	土 13:30 17:00	大阪交響楽団 第102回名曲コンサート ロシア・ロマン派音楽の系譜Vol.2	指揮/外山 雄三 (ミュージック・アドバイザー) 管/大阪交響楽団	ムソルグスキー/リムスキー=コルサコフ編：交響詩「はげ山の一夜」 ボロディン：歌劇「イーゴリ公」より「だったん人の踊り」 リムスキー=コルサコフ：交響組曲「シェエラザード」 op.35 ほか	S 3,500 A 3,000 B 1,500	大阪交響楽団 072-226-5522
8	日 14:00	ベルリン交響楽団	指揮/ハオール・ジャンパダール P/エフゲニー・ミハイロフ 管/ベルリン交響楽団	シベリウス：交響詩「フィンランディア」 op.26 ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番 八短調 op.18 ベートーヴェン：交響曲 第7番 イ長調 op.92 ほか	A 9,000 B 7,000 C 売切	ABCチケット インフォメーション 06-6453-6000
14	土 14:00	関西フィルハーモニー管弦楽団 第294回定期演奏会	指揮/藤岡 幸夫 S/半田 美和子 Alt/八木 寿子 T/畑 儀文 Br/与那城 敬 管/関西フィルハーモニー管弦楽団 合唱/関西フィルハーモニー合唱団	ヴェルディ：レクイエム	S 6,000 A 4,500 B 3,000 C 2,000 学生席(25歳以下) 1,000	関西フィルハーモニー 管弦楽団 06-6577-1381
15	日 14:00	千住真理子 ヴァイオリン・リサイタル ～哀愁のブラームス「雨の歌」と 珠玉の名曲小品集!～	Vn/千住 真理子 P/丸山 滋	ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第1番「雨の歌」 パッヘルベル：カンツォーネ ショパン：夜想曲 第20番 遺作 サラサーテ：ツィグイネルウィゼン ほか	全席指定 4,000	ABCチケット インフォメーション 06-6453-6000
16	月・祝 14:00	三浦文彰×辻井伸行 デュオ・リサイタル	Vn/三浦 文彰 P/辻井 伸行	パッハ：無伴奏ヴァイオリン・パルティータ 第3番 ホ長調 BWV1006 ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調 op.27-2「月光」 [三浦文彰×辻井伸行] ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ト長調 op.78「雨の歌」	A 売切 B 売切 C 売切	ABCチケット インフォメーション 06-6453-6000
20	金 19:00	大阪交響楽団 第220回定期演奏会	指揮/川瀬 賢太郎 S/木澤 佐江子、上村 智恵、北野 加織 Br/黒田 まさき 管/大阪交響楽団	モーツァルト：交響曲 二長調 K.320(セレナード 第9番「ボストホルン」の交響曲編) R.シュトラウス：楽劇「ばらの騎士」より 抜粋	S 6,500 A 5,500 B 4,000 C 2,500 D 1,000 丸かん席 2,000 青少年学生券1回 1,000 青少年学生券5回 4,000	大阪交響楽団 072-226-5522
21	土 16:00	N響「夏」2018	指揮/ユッカ・ベッカ・サラサテ Vn/バイパスクリデ 管/NHK交響楽団	シベリウス：アンダンテ・フェスティヴァー シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 二短調 op.47 ブラームス：交響曲 第1番 八短調 op.68	S 7,200 A 5,200 B 3,200	キョードー インフォメーション 0570-200-888
22	日 14:00	小林研一郎の「夏休み・名曲招待席」	指揮/小林 研一郎 P/小林 亜矢乃 管/関西フィルハーモニー管弦楽団	オフエンバック：オペレッタ「天国と地獄」 序曲 ビゼー：「カルメン」 第1組曲 スメタナ：交響詩「モルダウ」 ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番より「第1楽章」 ラヴェル：ボレロ ほか	A 5,500 B 4,500 C 売切	ABCチケット インフォメーション 06-6453-6000
24	火 19:00	The Symphony Hall Big Band ～Music Director 菊池寿人～ Vol.11	演奏/The Symphony Hall Big Band スペシャルゲスト・Vn/古澤 巖	ロベルト・ディ・マリノー：Olas, Margarita リチャード・ロジャース：My Funny Valentine ディジー・ガレスピー：マンデカ ビー・ウィー・キング：デネシー・ワルツ ジョン・パリー：映画「007」より ジェームズ・ボンド・メドレー ほか	S 5,400 A 4,320 B 3,240	大阪アート エージェンシー 072-648-3852
27	金 14:30 19:00	ニューヨーク市ヤングピープルス・コーラス	芸術監督・指揮/フランシスコ・ヌニェス 合唱/ニューヨーク市ヤングピープルス・コーラス	モーツァルト：キリエ 二短調 K.341 バーンスタイン：「ウェスト・サイド・ストーリー」メドレー アンジェラ・アキ：手紙～拝啓 十五の君へ～ 中田 真直：夏の思い出 ほか	S 5,800 A 5,300	公演事務局 06-6966-8000
28	土 14:00	ライト・シンフォニック コンサート ～情熱の夏～	指揮/松村 秀明 バンドネオン/三浦 一馬 管/大阪交響楽団 ナビゲーター/羽川 英樹 ◆オーケストラのみ	ピアソラ：プエノ・ス・アイレスの夏、リベルタンゴ モリコーネ：ニュー・シネマ・パラダイス マンシーニメドレー ほか	S 5,400 A 4,320	ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
28	土 19:00	オールパッハ名曲選!! 真夏のオルガンコンサート 2018 パッハ国際コンクール優勝 富田一樹のパッハ!!	Org/富田 一樹 (第20回パッハ国際コンクール オルガン部門 第一位)	J.S.パッハ：前奏曲とフーガ 八短調 BWV546 管弦楽組曲 第3番より「G線上のアリア」 BWV1068-2 幻想曲とフーガ 二短調「大フーガ」 BWV542 ほか	全席指定 2,160	ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
29	日 14:00	サマー・ポップス・コンサート	指揮/藤岡 幸夫 管/関西フィル・ポップス・オーケストラ	ラ・グンバルシータ、太陽がいっぱい、オリーブの首飾り ムーン・リバー(ティファニーで朝食を)、見上げてごらん夜の星を 明日に架ける橋、タルカス(大河ドラマ「平清盛」より「噴火」) パイレーツ・オブ・カリビアン ほか	A 5,500 B 4,500 C 売切	ABCチケット インフォメーション 06-6453-6000
30	月 11:00 14:00	0歳児からの “光と映像で楽しむオーケストラ” Vol.12 夏はパイプオルガン!!	指揮/横山 奏 歌のお兄さん/新井 宗平 歌のお姉さん/山本 かずみ Org/原田 仁子 管/大阪交響楽団	J.S.パッハ：「トッカータとフーガ」二短調より(パイプオルガン ソロ)◆ マスカーニ：歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲◆◆ アンダーソン：シンコペイテッド・クロック エルガー：行進曲「威風堂々」第1番◆◆ ほか ★プロジェクション・マッピングつき ◆パイプオルガンつき	おとな S 2,500 A 2,000 B 1,500 こども(0歳児から小学生) S 1,500 A 1,000 小学生 B 800	ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 大阪交響楽団 072-226-5522
31	火 16:30	ヤマハ・ハイライト・コンサート in OSAKA 2018	ヤマハJOCより11曲と即興演奏 エレクトーンコンクール優秀者 Jrピアノコンクール優秀者	ヤマハ音楽教室で学ぶ生徒より選ばれた自作曲演奏を中心 に、即興演奏や、ヤマハエレクトーンコンクールの優秀者 の演奏、Jrピアノコンクール優秀者のピアノ曲を披露	前売 2,500 当日 3,000	ヤマハ音楽振興会ヤマハ・ ハイライト・コンサート事務局 06-6531-8019

略語表 Alt=アルト、Br=バリトン、Cl=クラリネット、Mb=マリンバ、Org=オルガン、P=ピアノ、S=ソプラノ、Sax=サクソ、T=テノール、Vc=チェロ、Vn=ヴァイオリン、管=管弦楽
●チケットの料金はすべて消費税込みの価格です。●記載内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。●リハーサルなど情報を掲載していない日がございます。●各席種とも売り切れの際はご容赦ください。●公演情報は各お問合せ先にご確認ください。



ザ・シンフォニーホール座席表

The Symphony Hall



よりスムーズにご着席いただけますよう、座席と扉の位置をご確認ください。

エレベーター ボタン表示	3階席	2階席 後部	2階席 サイド	1階席
3	席: LLA ~ LLF 扉: O / P-1 / P-2	席: AA ~ HH 扉: I / J / K / L	席: LA ~ LG 扉: G / H	席: A ~ V 扉: A / B / C / D / E / F
2	席: RRA ~ RRF 扉: Q-1 / Q-2 / R	席: W ~ Z 扉: G / N	席: RA ~ RG 扉: M / N	
1				
12				
11				
10				
9				
8				
7				
6				
5				
4				
3				
2				
1				
0				
-1				
-2				
-3				
-4				
-5				
-6				
-7				
-8				
-9				
-10				
-11				
-12				
-13				
-14				
-15				
-16				
-17				
-18				
-19				
-20				
-21				
-22				
-23				
-24				
-25				
-26				
-27				
-28				
-29				
-30				
-31				
-32				
-33				
-34				
-35				
-36				
-37				
-38				
-39				
-40				
-41				
-42				
-43				
-44				
-45				
-46				
-47				
-48				
-49				
-50				
-51				
-52				
-53				
-54				
-55				
-56				
-57				
-58				
-59				
-60				
-61				
-62				
-63				
-64				
-65				
-66				
-67				
-68				
-69				
-70				
-71				
-72				
-73				
-74				
-75				
-76				
-77				
-78				
-79				
-80				
-81				
-82				
-83				
-84				
-85				
-86				
-87				
-88				
-89				
-90				
-91				
-92				
-93				
-94				
-95				
-96				
-97				
-98				
-99				
-100				

計1,704席 印:補助席58席 立見席83席